

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/09/26		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210569000701	科目番号 / Course code	05690007
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 11311_001		
授業科目名 / Course title	解放講座[総合科学科目] / On Social Leveling		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
科目分類 / Course Category	A科目群 総合科目, 総合科学科目, 自由選択科目, 総合科学科目, 選択科目, 全学モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	scykf338 yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	090-4586-8939		
担当教員オフィスアワー/Office hours	scykf338@yahoo.co.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	21世紀は人権の世紀といわれる。本講座は、人権の意味を正しく理解し、部落問題やアイヌ、ハンセン病、在日コリアン、セクシュアルマイノリティ等の人権問題と向き合う力をつけることを目的とする。		
授業到達目標/Course goals	上記の人権問題について、知識として獲得する。他人に話す力をつける。解決のために何ができるのかを議論できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	中間レポート(20%) 授業時のふり返り(30%) 最終レポート(50%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	関連する書籍、新聞記事等目を通してください。(4h)		
キーワード/Keywords	知識・スキル・態度・行動		
教科書・教材・参考書/Materials	授業ごとの資料を配布します。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考(URL)/Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	ネット社会では、様々な情報が飛び交います。フェイクという言葉が目されるように、情報を見極める力が必要とされます。人権問題については特に、正確な知識と判断する力が求められます。授業を通してこのような力を身に付けてほしいと思います。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	人権に関する意識調査 絵図を使った「人権」探し どんな人権問題を考え、関連する法律や条約を見つける。
2	今なぜ人権教育か? (講義とワークショップ)
3	部落問題と人権の今(1) (ビデオ視聴と講義)
4	部落問題と人権の今(2) (講義)
5	教科書から土農工商が消えた? (講義)
6	アイヌ問題と人権 (ビデオ視聴と講義)
7	アイヌ問題と人権(2) (講義)
8	在日外国人と人権(1) (ビデオ視聴と講義)
9	在日外国人と人権(2) (講義)
10	セクシュアルマイノリティと人権(1) (ビデオ視聴と講義)
11	セクシュアルマイノリティと人権(2) レポートの交流
12	ハンセン病と人権(1) (ビデオ視聴と講義)
13	ハンセン病と人権(2) (講義)
14	人権問題の解決のためのプログラム
15	人権問題の解決のためのワークショップ

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210569000702	科目番号 / Course code	05690007
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 11311_001		
授業科目名 / Course title	解放講座 [総合科学科目] / On Social Leveling		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
科目分類 / Course Category	A 科目群 総合科目, 総合科学科目, 自由選択科目, 総合科学科目, 選択科目, 全学モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	オンライン		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	scykf338 yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	090-4586-8939		
担当教員オフィスアワー / Office hours	scykf338@yahoo.co.jp		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	21世紀は人権の世紀といわれる。本講座は、人権の意味を正しく理解し、部落問題やアイヌ、ハンセン病、在日コリアン、セクシュアルマイノリティ等の人権問題と向き合う力をつけることを目的とする。		
授業到達目標 / Course goals	上記の人権問題について、知識として獲得する。他人に話す力をつける。解決のために何ができるのかを議論できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	中間レポート (20%) 授業時のふり返り (30%) 最終レポート (50%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	関連する書籍、新聞記事等目を通してください。(4h)		
キーワード / Keywords	知識・スキル・態度・行動		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業ごとの資料を配布します。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	ネット社会では、様々な情報が飛び交います。フェイクという言葉が目されるように、情報を見極める力が必要とされます。人権問題については特に、正確な知識と判断する力が求められます。授業を通してこのような力を身に付けてほしいと思います。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	人権に関する意識調査 絵図を使った「人権」探し どんな人権問題を考え、関連する法律や条約を見つける。
2	今なぜ人権教育か? (講義とワークショップ)
3	部落問題と人権の今(1) (ビデオ視聴と講義)
4	部落問題と人権の今(2) (講義)
5	教科書から土農工商が消えた? (講義)
6	アイヌ問題と人権 (ビデオ視聴と講義)
7	アイヌ問題と人権(2) (講義)
8	在日外国人と人権(1) (ビデオ視聴と講義)
9	在日外国人と人権(2) (講義)
10	セクシュアルマイノリティと人権(1) (ビデオ視聴と講義)
11	セクシュアルマイノリティと人権(2) レポートの交流
12	ハンセン病と人権(1) (ビデオ視聴と講義)
13	ハンセン病と人権(2) (講義)
14	人権問題の解決のためのプログラム
15	人権問題の解決のためのワークショップ

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/09/26		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	202105690007Z1	科目番号 / Course code	05690007
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 11311_001		
授業科目名 / Course title	解放講座[上限外] / On Social Leveling		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
科目分類 / Course Category	A 科目群 総合科目, 総合科学科目, 自由選択科目, 総合科学科目, 選択科目, 全学モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	scykf338 yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	scykf338 yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	21世紀は人権の世紀といわれる。本講座は、人権の意味を正しく理解し、部落問題やアイヌ、ハンセン病、在日コリアン、セクシュアルマイノリティ等の人権問題と向き合う力をつけることを目的とする。		
授業到達目標/Course goals	上記の人権問題について、知識として獲得する。他人に話す力をつける。解決のために何ができるのかを議論できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	中間レポート(20%) 授業時のふり返り(30%) 最終レポート(50%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	関連する書籍、新聞記事等目を通してください。(4h)		
キーワード/Keywords	知識・スキル・態度・行動		
教科書・教材・参考書/Materials	授業ごとの資料を配布します。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考(URL)/Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	ネット社会では、様々な情報が飛び交います。フェイクという言葉が注目されるように、情報を見極める力が必要とされます。人権問題については特に、正確な知識と判断する力が求められます。授業を通してこのような力を身に付けてほしいと思います。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	人権に関する意識調査 絵図を使った「人権」探し どんな人権問題を考え、関連する法律や条約を見つける。
2	今なぜ人権教育か? (講義とワークショップ)
3	部落問題と人権の今(1) (ビデオ視聴と講義)
4	部落問題と人権の今(2) (講義)
5	教科書から土農工商が消えた? (講義)
6	アイヌ問題と人権 (ビデオ視聴と講義)
7	アイヌ問題と人権(2) (講義)
8	在日外国人と人権(1) (ビデオ視聴と講義)
9	在日外国人と人権(2) (講義)
10	セクシュアルマイノリティと人権(1) (ビデオ視聴と講義)
11	セクシュアルマイノリティと人権(2) レポートの交流
12	ハンセン病と人権(1) (ビデオ視聴と講義)
13	ハンセン病と人権(2) (講義)
14	人権問題の解決のためのプログラム
15	人権問題の解決のためのワークショップ

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210569001101	科目番号 / Course code	05690011
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 11611_001		
授業科目名 / Course title	全学乗船実習 [総合科学科目] / Training Cruise for General Students		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	八木 光晴 / Yagi Mitsuharu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	八木 光晴 / Yagi Mitsuharu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	八木 光晴 / Yagi Mitsuharu		
科目分類 / Course Category	総合科学科目, 自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	実習 / Practical Training
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学部学生 (1年生から4年生)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	yagi-m nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する時は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	水産学部本館3階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2809		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木・金の午後3時以降		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	教養モジュール科目の「食の安全と持続的な海洋食料資源の利用(人から見た水産業)」で学んだ内容を、より身近な問題として実践的な視点で捉えるため、附属練習船長崎丸に乗船して航海を体験する。これらの体験により、海洋環境や海洋生態系、あるいはそれらと人間の営みを肌で感じ、より深く理解すると共に、異分野の学生が船内生活を通して、通常のキャンパスライフでは困難なコミュニケーション能力、多角的視点、協調性などを修養する。		
授業到達目標 / Course goals	海洋および船舶に慣れ、親しみ、航海・運用術、海洋観測の基礎的実習及び海・船・人間の関係について関わりを習得。また、船内での団体生活の体験により、協調性・寛容性を習得する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	実習への取り組み状況 70 % レポート 30 %		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前講義 (1h) 実習の目的・概要・船内注意事項・見学施設等についての 事前講義 船、海洋観測、トロール操業等に関する基礎知識 事後講義 (1.5h) 実習の総括、レポート課題等の説明等 () 事前・事後講義 (於 文教キャンパス) および実習の日程は、別途通知する。		
キーワード / Keywords	練習船・海洋実習・海洋観測		
教科書・教材・参考書 / Materials	事前ガイダンス、船内ガイダンスの際に資料を配付する。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	・受講定員は40名 (希望多数の場合は、抽選により受講者を決定する) ・受講者は、必ず傷害保険に加入すること。 ・受講にかかる費用として食費 (4日分) および陸上関連施設利用料 計8,000円程度が別途必要		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	洋上での貴重な体験をできるのでぜひ積極的に参加して欲しい
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	八木光晴 / 大型漁業練習船での実務経験と海技免状取得経験 / 船舶の運用と水産漁業に関する基礎知識とその応用、および海技免状取得に向けた教育のために海技士資格を有する教員が指導する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	<p>実習 1 日目 乗船 船内ガイダンス（船内設備、注意事項等の説明） 海洋観測、トロール操業、非常配置表等の説明、日没後プランクトン採集</p> <p>2 日目 天候・海況により、(1)?(3) のいずれかを実施 (1) 海洋観測、トロール操業、漁獲物調査、ロープ結索練習（於 東シナ海） (2) 海洋観測、ロープ結索演習、（於 操練が行える湾） (3) 海洋観測、船の位置測定練習、ロープ結索演習、（於 位置測定が行える湾）</p> <p>3 日目 入港、陸上水産施設（水族館等）の見学 4 日目 陸上水産施設（魚市場等）の見学、出港 魚類の加工（干し物等の作成） 5 日目 下船時のガイダンス（予定、注意事項等の説明） 下船 () 天候・海況によっては、実習の内容を大きく変更することがある。</p>

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/09		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	202105880066Q1	科目番号 / Course code	05880066
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15771_001		
授業科目名 / Course title	ダイバーシティ社会における課題とその解決(令和2年以前入学者用 自分のキャリアを考える講座) / Think Your Own Career - From Viewpoint of Gender Equality and Diversity -		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉田 ゆり / Yuri Yoshida, 中島 ゆり / Nakajima Yuri, 井口 茂 / Inokuti Shigeru, 伊東 昌子 / Ito Masako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉田 ゆり / Yuri Yoshida		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉田 ゆり / Yuri Yoshida, 中島 ゆり / Nakajima Yuri, 井口 茂 / Inokuti Shigeru, 伊東 昌子 / Ito Masako		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23, 教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	令和2年度以前入学者用		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	yuyoshida_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	ダイバーシティ推進センター / Center for Diversity and Inclusion 教育学部220研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2383		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜日12:10?12:50 (教育学部研究室でのみ対応)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	現代社会の課題とされているダイバーシティ社会のありようについて、男女共同参画の実現及びジェンダーギャップの解決、ワークライフバランスの実現、アンコンシャスバイアスなどのテーマを通して、社会の一員としての自分のキャリア形成に役立てる / Through gender equality, work-life balance, diversity, we will use it to form a career as a member of society.		
授業到達目標 / Course goals	自分をよく理解すること、自分のやりたいこと、なりたいたい人物像を知ること。ワークライフバランス・ダイバーシティ (多様性) の意味を理解し、自分の将来のキャリア形成に関連付けることができるようになる / To understand yourself, to know what you want to do, to know the person you want to become. Understand the meaning of work-life balance, diversity and be able to relate it to your future career formation		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	レポート50点 (50%) + 授業への貢献 (プレゼンテーション及び小レポートなどで評価) (50%) = 100点満点のうち60点以上が合格とする。プレゼンテーションは、グループで選んだ課題をグループでまとめて、パワーポイントなどで発表してもらいます / Reports and (50%), presentations・mini reports (50%), In presentation, group chosen tasks and make a presentation using PowerPoint.		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	必要に応じて指示 / Instructions as necessary 事前学習: 自分が現在キャリアをどのように考えているか、介護の体験、ジェンダーのこと、仕事、家庭のことなどを常に考えておくことを求める。メモでもいいので、できるだけ言語化しておくこと (2h) 事後学習: ジェンダーやLGBT、キャリアに関する報道に着目し、イベントに参加するなど、視野を広げる活動を求める。各論については資料を再読し、理解を確実にすること (2h)		
キーワード / Keywords	ダイバーシティ、キャリア、ワークライフバランス / diversity, career, work life balance		

教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じて資料を配布する / Distribute materials as necessary.	
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	特になし/Nothing in particular	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948	
備考 (URL) /Remarks (URL)	http://www.cdi.nagasaki-u.ac.jp、http://nagasaki-ajisai.jp	
学生へのメッセージ/Message for students	この講義を担当するのは、長崎大学ダイバーシティ推進センターの伊東昌子です。長崎大学医学部を卒業して、長崎大学病院で医師として働き、今は同大学ダイバーシティ推進センターに勤務しています。ダイバーシティとは「多様性」という意味で、ダイバーシティ推進とは、さまざまな考え方や価値観を受け入れて、個人が個人としてイキイキと過ごし、自分の「やってみたいこと」「仕事にしたいこと」「こうやって生きたい」と思っていることを実現できるようにすることです。自分の人生と仕事のキャリアを考え、なりたい自分を見つける、また社会生活において他の人の考え方や価値観を尊重することの重要性や生活と仕事の相乗効果と一緒に考え、これから社会人になっていくみなさんために有意義な講義にしていきたいと思えます。 / Masako Ito Masako, Center for Diversity and Inclusion, Nagasaki University is in charge of this lecture. After graduating from Nagasaki University School of Medicine, I worked as a medical doctor at Nagasaki University Hospital and now I work for Center for Diversity and Inclusion. Diversity means "to accept and cherish individual ideas and values". Consider about careers of your life and work, find what you want to be, think about the importance of respecting other people's thinking and values ??in social life, together with the synergistic effect of life and work together. I would like to make meaningful lectures	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	吉田 ゆり / ①病院 (児童精神科、小児神経科外来) の臨床心理士として医師の指示の元、発達・知能検査他検査や観察など診察補助を担当。また、療育手帳発行のための資料作成を行った(1年間) 。 / ②発達障害外来を持つ病院での臨床心理士歴を持つ教員が、発達障害の各論とその指導法について講義 / ③横浜市総合リハビリテーションセンター (非常勤)	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	自分のキャリアを自分で考える：ワークライフバランスとダイバーシティ (吉田)	A D
第2回	介護 (親・祖父母の介護) とキャリア (井口茂)	D
第3回	介護 (親・祖父母の介護) とキャリア (井口茂)	D
第4回	ワークライフバランスと女性の活躍 (伊東昌子)	B
第5回	ワークライフバランスと女性の活躍 (伊東昌子)	B
第6回	アンコンシャスバイアスを知る (伊東昌子)	B
第7回	アンコンシャスバイアスに対応する (伊東昌子)	D
第8回	進路選択とジェンダー (中島ゆり)	D
第9回 (5月15日)	進路選択とジェンダー (中島ゆり)	D
第10回	LGBTについて (吉田ゆり) 長崎大学の取り組み	D
第11回	LGBTについて (吉田ゆり) ゲストスピーカーを迎えての講話	A
第12回 (5月29日)	豊かに生きるためのコミュニケーション (吉田ゆり)	A
第13回 (5月29日)	豊かに生きるためのコミュニケーション (吉田ゆり)	A
第14回 (6月5日)	子育てとキャリア、子育て支援 (吉田ゆり)	A B
第15回 (6月5日)	まとめ (学生同士のディスカッションを中心に) (吉田ゆり)	A B

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2021/06/10 ~ 2021/08/04		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210588007201	科目番号 / Course code	05880072
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15801_001		
授業科目名 / Course title	ボランティアを通して地域を知る[総合科学科目] / Discover Your Community Through Volunteer Activity		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	井口 茂 / Inokuti Shigeru, 矢野 香 / Yano Kaori, 本多 直子 / Honda Naoko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	井口 茂 / Inokuti Shigeru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	井口 茂 / Inokuti Shigeru, 矢野 香 / Yano Kaori, 本多 直子 / Honda Naoko		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	1年生, 2年生, 3年生, 4年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	shigeru_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	医学部保健学科3階 井口教員室		
担当教員TEL / Tel	095-819-7962		
担当教員オフィスアワー / Office hours	8時30分-12時, 13時00分-17時30分 / 8:30-12:00, 13:00-17:30		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>少子・高齢化社会で生きていくために、ライフサイクルにおける課題を理解する。子どもたちの成長過程や親子の絆を学び、また高齢者については、介護の現実と介護者支援の必要性を理解する。講義の中で、実際にボランティアの機会を通して自らも成長し、社会のフィールドにおいて、豊かなコミュニケーション力を育むとともに地域課題に対する学びを深める。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・人とのコミュニケーションにおいて、傾聴できるようになる。(自主的に考え発信する能力、) ・ボランティア体験を通して、地域で暮らす高齢者や子どもとその社会について理解できるようになる。(社会に貢献できる市民として求められる多様な基礎的知識、) (自主的に考え発信する能力、) ・介護している人(介護者)の支援について理解できるようになる。(社会に貢献できる市民として求められる多様な基礎的知識、) ・子育ての重要性について理解できるようになる。(社会に貢献できる市民として求められる多様な基礎的知識、) ・ワークライフバランスについて、理解できるようになる。(グローバルかつ地域の視点から多様性を理解しようとする態度・志向性、) (論理的・批判的に物事を考える能力、) 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	プレゼンテーション課題(40点)+レポート課題(40点)+グループワークへの貢献度(20点)=合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	予習: 各講義の資料をweb上に掲載するので、あらかじめ目を通して講義の内容及び流れを把握しておくこと。(2h) 復習: 講義のノート及びweb上の資料により復習し、疑問点などをまとめ、フィールドワークについても参加したボランティアの内容についてまとめること。(2h)		

キーワード/Keywords	高齢者、子ども、支援、ボランティア、地域
教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じて資料を配布する/ Distribute materials as necessary
受講要件（履修条件）/Prerequisites	指定された日時にフィールドワーク（ボランティア）に参加できること。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	注釈：フィールドワークは、日程調整のうえ実施します。1回3時間とし、計2回分の講義（第8回と第10回）への出席・参加として評価します。
学生へのメッセージ/Message for students	本講義では、少子・高齢社会で生きる若い世代のみならず、高齢者や介護者支援、ボランティアについて一緒に考えます。今後社会に出て活躍する際に、自身のライフイベントとして避けては通れないことを一緒に考えていきましょう。興味がある方は、是非受講ください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	井口 茂 / 理学療法士として地域活動における実務経験 / 要介護者及び認知症の対象者について必要な基本的知識、技術を指導する。 本多直子 / 看護師として大学病院における実務経験 / 子育てにおける子どもの発達について必要な知識を指導する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回：6月16日 5限目	長寿社会の光と影（担当：井口）
2回：6月16日 6限目	フィールドワークに向けたオリエンテーションとグループワーク（担当：井口）
3回：6月23日 5限目	傾聴について（担当：井口）
4回：6月23日 6限目	傾聴について：演習（担当：井口）
5回：6月30日 5限目	ボランティアのためのコミュニケーションの取り方を学ぶ（担当：矢野）
6回：6月30日 6限目	ボランティアのためのコミュニケーションの取り方を学ぶ（担当：矢野）
7回：7月7日 5限目	認知症サポーター養成講座（担当：井口）
8回：7月7日 6限目	フィールドワーク
9回：7月14日 5限目	若年性認知症について（担当：井口）
10回：7月14日 6限目	フィールドワーク（担当：井口）
11回：7月21日 5限目	こどもの心と身体の発育・発達（担当：本多）
12回：7月21日 6限目	こどもの心と身体の発育・発達（担当：本多）
13回：7月28日 5限目	フィールドワークのまとめ、プレゼンテーション（担当：井口）
14回：7月28日 6限目	フィールドワークのまとめ、プレゼンテーション（担当：井口）
15回：8月4日 5限目	事例検討、ディスカッション、総評（担当：井口）

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2021/06/10 ~ 2021/08/04		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210588020901	科目番号 / Course code	05880209
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 22111_032		
授業科目名 / Course title	English for Specific Purposes(A)[総合科学科目] / English for Specific Purposes (A)		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	丸山 真純 / Maruyama Masazumi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	丸山 真純 / Maruyama Masazumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	丸山 真純 / Maruyama Masazumi		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	masazumi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日5限目		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	TOEIC受験のために、問題形式に慣れつつ、リーディングとリスニングの力を向上を目指す。		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. 必要な情報を正しく適切に聞き取り、読み取ることができる。 2. 基本的な文法・構文・表現方法を習得し、英語を正しく理解することができる。 3. 英語音声に慣れる(連結、脱落、変化など) 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	中間テスト: 45%、期末テスト: 45%、授業への参加度: 10%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	単語力をつけるため、授業外でも単語を覚えましょう。 事前学習(予習): 事前に指定した内容・問題演習を行ってくること。(2h) 事後学習(復習): 配布資料等を見直し、理解を確実にするよう努めること。授業で扱った単語・ 熟語をQuizletを使用して勉強してください。また、授業で扱った問題以外にもTOEIC形式の問題を 解いてみましょう(elearning教材等)(2h)		
キーワード/Keywords	TOEIC		
教科書・教材・参考書/Materials	資料を配布予定		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい 。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		

備考 (URL) /Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	TOEICは英語の力とともにパターンに習熟することも重要です。 対面授業を基本としつつも、オンライン授業やオンデマンド授業を組み合わせる予定です。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y / N) / Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第 1 回	オリエンテーション アプリのインストール 学習方法の説明 TOEIC MiniTest	A
第 2 回	リスニング強化 (1) PART 2 の概要とポイント	A C
第 3 回	リスニング強化 (2) PART 2 の概要とポイント	A C
第 4 回	リーディング強化 (1) PART 5 の概要とポイント	A C
第 5 回	リーディング強化 (2) PART 5 の概要とポイント	A C
第 6 回	リーディング強化 (3) PART 6 の概要とポイント	A C
第 7 回	リーディング強化 (4) Part 6	A C
第 8 回	リスニング強化 (3) PART 1 の概要とポイント	A C
第 9 回	中間テスト (TOEIC MiniTest, Words & Phrases) Catch-up	A C
第 1 0 回	リーディング強化 (5) PART 7 の概要とポイント	A C
第 1 1 回	リーディング強化 (6) PART 7 の概要とポイント	A C
第 1 2 回	リスニング強化 (4) PART 3 の概要とポイント	A C
第 1 3 回	リスニング強化 (5) PART 3 の概要とポイント	A C
第 1 4 回	リスニング強化 (6) PART 4 の概要とポイント	A C
第 1 5 回	リスニング強化 (7) PART 4 Catch-up and Review	A C

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/26		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210588021001	科目番号 / Course code	05880210
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 22111_032		
授業科目名 / Course title	English for Specific Purposes(B)(1単位科目) [総合科学科目] / English for Specific Purposes (B)		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji, 奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji, 奥田 阿子 / Ako Okuda		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	小笠原 ogasa-s nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください) 奥田 a-okuda nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教養教育講義棟 B棟1階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	まずは、メールで質問を受け付けます。 ogasa-s nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください) a-okuda nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	TOEICのリスニング・セクション、リーディングセクションに特化したe-learning教材を用いて、TOEICの問題に効率的に取り組む力を養成する。TOEICを受験するうえで有用な語彙や表現に着目し、細部を聞き取る、読み取る力を身に付ける訓練を行う。		
授業到達目標/Course goals	1. 必要な情報を正しく適切に聞き取ることができる。 2. 必要な情報を正しく適切に読み取ることができる。 3. 自分の弱点を見つけ、強化することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	小テスト & TOEIC教材への取り組み : 30% 中間テスト : 35% 期末テスト : 35%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	・ 予習 : 事前に指定したTOEICの教材の範囲を学習すること、また小テストに向けた学習 (1 時間 / 回) ・ 復習 : 授業内容を見直し、学習の振り返りを行う (1 時間 / 回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	この授業では、e-learning教材であるTOEIC L&R800 突破 (Reallyenglish社)を使用します。使用方法については、初回の授業で説明します。 e-learning教材として3000円前後		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks（URL）	この授業は、TOEICの上級者を目指す学生のためのクラスです。	
学生へのメッセージ/Message for students		
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	オリエンテーション アンケートの実施 学習方法の説明	A C
第2回	TOEIC Simulation Test 1 Introduction Part 1 Video 1 Opening Describing people doing things Describing inanimate objects Part 1 Video 2 Closing	A
第3回	Part 2 Video 1 Opening WH-questions 1 WH-questions 2 Yes/No questions Proposals and requests Selective questions Tag questions and statements Part 2 Video 2 Closing	A
第4回	Part 5 Video 1 Opening Word order Meaning of the sentence Verb forms 1 Verb forms 2 Pronouns	A
第5回	Relative pronouns Linking words Set phrases Number and quantity Vocabulary 1 Vocabulary 2 Part 5 Video 2 Closing	A
第6回	Part 3 Video 1 Opening Conversations in stores Conversations in various facilities Telephone conversations Conversations at public places	A
第7回	Conversations in offices Three speakers Questions with an image Speaker's intention Part 3 Video 2 Closing	A
第8回	中間テスト	A

第 9 回	Part 4 Video 1 Opening Telephone messages Broadcasting Advertisements Meetings 1	A
第 10 回	Meetings 2 Announcements in various places Questions with an image Speaker's intention Part 4 Video 2 Closing	A
第 11 回	Part 7 Video 1 Opening Forms and lists Instant messages Advertisements 1 E-mails Memos	A
第 12 回	Articles Meaning of the word Text completion with a sentence Double passages Triple passages Part 7 Video 2 Closing	A
第 13 回	Part 6 Video 1 Opening Pronouns Tense Word choice Conjunctive adverbs Text completion with a sentence Part 6 Video 2 Closing Wrap-up	A
第 14 回	TOEIC Simulation Test 2	A
第 15 回	TOEIC Simulation Test 3	A
第 16 回	期末試験	A

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2022/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20210588023801	科目番号 / Course code	05880238
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15911_001		
授業科目名 / Course title	キャリア実践 [総合科学科目] / Career Practice		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	矢野 香 / Yano Kaori		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	矢野 香 / Yano Kaori		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	矢野 香 / Yano Kaori		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kyano nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	キャリアセンター		
担当教員TEL / Tel	095-819-2087		
担当教員オフィスアワー / Office hours	事前にメールか電話でアポイントを取ってください。 kyano nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	インターンシップや会社見学など実社会に出て実習を行ったり、第一線で活躍する社会人の方々からお話を聞いたりする講義です。 詳しい企業名や講師名など質問がある場合は、担当教員までメールで問い合わせてください		
授業到達目標 / Course goals	(1) 実社会での体験を通して社会人に必要なスキルを理解し、自分が不足している能力について自己分析することができる。 (2) 自己の適性やキャリアデザインについて考え、暫定的な将来の目標をたてることができる。 (3) チームで共修・協働しながら、実習のための事前調査や事後報告などをまとめることができ、その内容についてわかりやすく発表することができる。 (4) 実習先である企業担当者の指導・指示に従い、責任ある行動を心掛けることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	各回のレポート課題(80点)+プレゼンテーション課題(15点)+授業貢献度(5点) =合計100点のうち60点以上を合格とする。 なお、授業に出席した時数が3分の2に達しない場合は、失格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	予習(2h)...企業研究や課題に取り組み、LACSから提出。 復習(2h)...課題やレポートに取り組み、LACSから提出 予習・復習ともに詳細は毎回講義内で説明します。		
キーワード / Keywords	キャリア、インターンシップ、社会人基礎力		
教科書・教材・参考書 / Materials	なし		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	夏休み期間中の集中講義です。事前に日程をよく確認してください。 事前に確認したいことがある場合は、担当教員までメールで問い合わせてください。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	インターンシップに参加するためには、保険に加入する必要があります。 通常は、入学時に手続きが完了しています。詳細は講義内で説明します。 <大学で加入できる保険> ・学生教育研究災害障害保険 ・学生教育研究災害障害保険付帯賠償責任保険 上記以外でも、自身の事故及び対人・対物への補償が含まれるものであれば問題ありません。
学生へのメッセージ/Message for students	インターンシップや企業研究は、3年生になってから就職活動のときにするものと思っていませんか？ この講義では、1,2年生向けの社会体験を行います。 1年次からこうした経験をする事で、早い時期から「社会で働く」ということをリアルにイメージすることができるようになります。ぜひ挑戦してみてください！ 新型コロナウイルス感染症の状況次第で授業内容が変更する可能性があります。
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	矢野 香/日本放送協会(NHK)アナウンスにて報道番組のキャスター歴17年。政治家・経営者などにもスピーチ指導を行う。講演・研修実績多数。大学卒業後、放送局での正職員、契約職員、業務委託など様々な雇用形態を経て法人起業をした経験をもとに、職業選択だけでなくキャリア形成について指導。学生が、主体的に自らのキャリアを切り拓くことを考える契機とする。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 8月11日(水)	オリエンテーション ・インターンシップとは？ ・社会に出る前に身に付けるべき力 場所：文教キャンパス 時間：13:00～14:30
第2回 8月11日(水)	外部講師：ベンチャー企業経営者 (起業家・アントレプレナーに聞く) 場所：文教キャンパス 時間：14:40～16:10
第3回 8月11日(水)	外部講師：LPガス・ガス器具・電力販売事業、環境エネルギー事業 (1ターン就職経験者に聞く) 場所：文教キャンパス 時間：16:20～17:50
第4回 8月12日(木)	インターンシップ（会社見学） メーカー（製造）2社 場所：長崎市・諫早市 ・文教キャンパスからバスで移動 時間：10:30～12:00
第5回 8月12日(木)	インターンシップ（会社見学） 長崎市・諫早市 ・文教キャンパスからバスで移動 時間：12:50～14:20
第6回 8月12日(木)	インターンシップ（会社見学） 長崎市・諫早市 ・文教キャンパスからバスで移動 時間：14:30～16:00

第7回 9月13日(月)	インターンシップ (PBL型) (株)JR長崎シティ/アミュプラザ長崎 場所:文教キャンパス 時間:13:00~14:30
第8回 9月13日(月)	インターンシップ (PBL型) (株)JR長崎シティ/アミュプラザ長崎 場所:文教キャンパス 時間:14:40~16:10
第9回 9月13日(月)	インターンシップ (PBL型) (株)JR長崎シティ/アミュプラザ長崎 場所:文教キャンパス 時間:16:20~17:50
第10回 9月14日(火)	インターンシップ (会社見学) 金融・保険・証券/ソフトウェア・通信など3~4社予定 場所:長崎市出島町界限 (現地集合) 時間:10:30~12:00
第11回 9月14日(火)	インターンシップ (会社見学) 金融・保険・証券/ソフトウェア・通信など3~4社予定 場所:長崎市出島町界限 (現地集合) 時間:12:50~14:20
第12回 9月14日(火)	インターンシップ (会社見学) 金融・保険・証券/ソフトウェア・通信など3~4社予定 場所:長崎市出島町界限 (現地集合) 時間:14:30~16:00
第13回 9月15日(水)	外部講師:株式会社十八親和銀行 金融・保険・証券 (本学卒業生に聞く) 場所:文教キャンパス 時間:13:00~14:30
第14回 9月15日(水)	外部講師:世界を舞台にマスメディアで働く (元NHKエルサレム支局長に聞く) 場所:文教キャンパス 時間:14:40~16:10
第15回 9月15日(水)	総括・まとめ 場所:文教キャンパス 時間:16:20~17:50

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2022/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	202105880238Z1	科目番号 / Course code	05880238
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15911_001		
授業科目名 / Course title	キャリア実践[総合科学科目__上限外] / Career Practice		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	矢野 香 / Yano Kaori		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	矢野 香 / Yano Kaori		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	矢野 香 / Yano Kaori		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kyano nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	キャリアセンター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2087		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールか電話でアポイントを取ってください。 kyano nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	インターンシップや会社見学など実社会に出て実習を行ったり、第一線で活躍する社会人の方々からお話を聞いたりする講義です。 詳しい企業名や講師名など質問がある場合は、担当教員までメールで問い合わせてください		
授業到達目標/Course goals	(1) 実社会での体験を通して社会人に必要なスキルを理解し、自分が不足している能力について自己分析することができる。 (2) 自己の適性やキャリアデザインについて考え、暫定的な将来の目標をたてることができる。 (3) チームで共修・協働しながら、実習のための事前調査や事後報告などをまとめることができ、その内容についてわかりやすく発表することができる。 (4) 実習先である企業担当者の指導・指示に従い、責任ある行動を心掛けることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	各回のレポート課題(80点)+プレゼンテーション課題(15点)+授業貢献度(5点) =合計100点のうち60点以上を合格とする。 なお、授業に出席した時数が3分の2に達しない場合は、失格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習(2h)...企業研究や課題に取り組み、LACSから提出。 復習(2h)...課題やレポートに取り組み、LACSから提出 予習・復習ともに詳細は毎回講義内で説明します。		
キーワード/Keywords	キャリア、インターンシップ、社会人基礎力		
教科書・教材・参考書/Materials	なし		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	夏休み期間中の集中講義です。事前に日程をよく確認してください。 事前に確認したいことがある場合は、担当教員までメールで問い合わせてください。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	インターンシップに参加するためには、保険に加入する必要があります。 通常は、入学時に手続きが完了しています。詳細は講義内で説明します。 <大学で加入できる保険> ・学生教育研究災害障害保険 ・学生教育研究災害障害保険付帯賠償責任保険 上記以外でも、自身の事故及び対人・対物への補償が含まれるものであれば問題ありません。
学生へのメッセージ/Message for students	インターンシップや企業研究は、3年生になってから就職活動のときにするものと思っていませんか？ この講義では、1,2年生向けの社会体験を行います。 1年次からこうした経験をする事で、早い時期から「社会で働く」ということをリアルにイメージすることができるようになります。ぜひ挑戦してみてください！
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	矢野 香/日本放送協会(NHK)アナウンスにて報道番組のキャスター歴17年。政治家・経営者などにもスピーチ指導を行う。講演・研修実績多数。大学卒業後、放送局での正職員、契約職員、業務委託など様々な雇用形態を経て法人起業をした経験をもとに、職業選択だけでなくキャリア形成について指導。学生が、主体的に自らのキャリアを切り拓くことを考える契機とする。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 8月11日(水)	オリエンテーション ・インターンシップとは？ ・社会に出る前に身に付けるべき力 場所：文教キャンパス 時間：13:00～14:30
第2回 8月11日(水)	外部講師：ベンチャー企業経営者 (起業家・アントレプレナーに聞く) 場所：文教キャンパス 時間：14:40～16:10
第3回 8月11日(水)	外部講師：LPガス・ガス器具・電力販売事業、環境エネルギー事業 (1ターン就職経験者に聞く) 場所：文教キャンパス 時間：16:20～17:50
第4回 8月12日(木)	インターンシップ（会社見学） メーカー（製造）2社 場所：長崎市・諫早市 ・文教キャンパスからバスで移動 時間：10:30～12:00
第5回 8月12日(木)	インターンシップ（会社見学） 長崎市・諫早市 ・文教キャンパスからバスで移動 時間：12:50～14:20
第6回 8月12日(木)	インターンシップ（会社見学） 長崎市・諫早市 ・文教キャンパスからバスで移動 時間：14:30～16:00

第7回 9月13日(月)	インターンシップ (PBL型) (株)JR長崎シティ/アミュプラザ長崎 場所：文教キャンパス 時間：13:00～14:30
第8回 9月13日(月)	インターンシップ (PBL型) (株)JR長崎シティ/アミュプラザ長崎 場所：文教キャンパス 時間：14:40～16:10
第9回 9月13日(月)	インターンシップ (PBL型) (株)JR長崎シティ/アミュプラザ長崎 場所：文教キャンパス 時間：16:20～17:50
第10回 9月14日(火)	インターンシップ (会社見学) 金融・保険・証券/ソフトウェア・通信など3～4社予定 場所：長崎市出島町界限 (現地集合) 時間：10:30～12:00
第11回 9月14日(火)	インターンシップ (会社見学) 金融・保険・証券/ソフトウェア・通信など3～4社予定 場所：長崎市出島町界限 (現地集合) 時間：12:50～14:20
第12回 9月14日(火)	インターンシップ (会社見学) 金融・保険・証券/ソフトウェア・通信など3～4社予定 場所：長崎市出島町界限 (現地集合) 時間：14:30～16:00
第13回 9月15日(水)	外部講師：株式会社十八親和銀行 金融・保険・証券 (本学卒業生に聞く) 場所：文教キャンパス 時間：13:00～14:30
第14回 9月15日(水)	外部講師：世界を舞台にマスメディアで働く (元NHKエルサレム支局長に聞く) 場所：文教キャンパス 時間：14:40～16:10
第15回 9月15日(水)	総括・まとめ 場所：文教キャンパス 時間：16:20～17:50

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2021/06/10 ~ 2021/08/04		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20210588025401	科目番号 / Course code	05880254
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 16011_002		
授業科目名 / Course title	現代社会を生きる[総合科学科目] / Study of Contemporary Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	wknhrtk nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	持続可能な社会を作る上において、「主体的に社会の形成に参画しようとする態度」が必要であり、 そのためには、公職選挙法等一部の改正、民法の改正など現代社会でどのような変化があるか、 今どんな問題が自分らの前にあるかを考え生活していく必要がある。 この講義では、主権者教育、租税教育、消費者教育の観点での知識を習得し、主権者意識、 消費者意識を高め、他者と連携・協働しながら、主体的に社会の形成に関わる思考・態度を身につける。		
授業到達目標/Course goals	主権者教育、租税教育、消費者教育の観点での基礎的知識を身に付ける 主体的に社会の形成に関わる思考・態度を身につける。 地域社会への貢献を考えることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題提出による累積した点数およびグループワークを通じたプレゼン内容により評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	LACSにおいて、事前・事後の授業資料を提示するため授業外に活用すること(各2h)		
キーワード/Keywords	主権者教育、租税教育、消費者教育		
教科書・教材・参考書/Materials			
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい 。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	外部講師によるものです。また、消費者教育においては、グループでプレゼン資料を作成し発表する時間が多くあります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y / N) / Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	長崎県選挙管理委員会、北部九州税理士会、長崎県消費者センターの各専門分野の外部講師によるものである。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents
1 - 2 回	主権者教育
3 - 6 回	租税教育 (我が国の租税の構造, 租税法の基本原則など)
7 - 14 回	消費者教育 (貸付トラブル、訪問販売、情報サイトのトラブル、キャッチセール等の事例とその対処について) など、消費者市民社会の構築にむけ考える。
15 回	まとめ

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2021/06/10 ~ 2021/08/04		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0//1.0
時間割コード / Time schedule code	20210588026401	科目番号 / Course code	05880264
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 16631_002		
授業科目名 / Course title	経験学習実践論(1単位科目)[総合科学科目] / Practical Theory of Experiential Learning		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa, 永谷 研一 / Nagaya Kenichi, 鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa, 永谷 研一 / Nagaya Kenichi, 鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-niwa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	ICT基盤センター 2階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2084		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日10:40 ~ 12:00 (事前に電子メールで教員と時間調整を行うこと)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>【授業の概要】 皆さんは高い志を持ち、目標を達成したくて大学に入学されたことと思います。日々、学びを継続することは自身との戦いであり、苦勞なさっている方も多いことでしょう。勉強に限らず、「今日はやろう」「明日こそやろう」と思っているにもかかわらず行動に踏み出せないときがあります。本科目では、たとえば、毎日5分間だけ使って自分ができたことを見つけ、週一回10分間振り返る行動を継続することによって、自ら新しい行動を見出していきます。そしてその行動の中で自分の良さに気づき“ありがたい姿”を発見することを目指して学修を進めます。学修するメソッドの各要素は「行動科学」、「認知科学」、「情動コントロール」、「協働学習」の知見に基づいて設計されています。</p> <p>初回授業は、毎日取り組むことを確認します。第1回～第4回の授業は、遠隔地にいる永谷先生と教室の丹羽・鈴木が連携しながら、ビデオ会議システムを使って授業を進めます。その際、皆さんはコラボレーションツールを使って、教員と学生の間および学生同士で意思疎通を図ります。第5回～第8回の授業は、数名で構成されるグループに分かれて、日々学習してきたことについて情報交換して、グループとしてアピールすることをまとめます。さらに、ワールドカフェを行って他グループとの情報共有に取り組み、その結果を自グループの改善に結びつけます。</p> <p>【授業の位置づけ】 本科目は教養教育における自由選択科目です。</p>		
授業到達目標/Course goals	以下の5つの技術を座学と演習によって身につけることができます。 <ul style="list-style-type: none"> 自己肯定感を高める手法として、できたことを見つける技術を活用できるようになる 自分の感情を見つめる手法として、感情コントロール技術を適用できるようになる できたことから次なる行動への気づきを得る、思考法を活用できるようになる 見出した行動計画を確実に実践する、行動変容技術を適用できるようになる 自分の軸を見出す技術として、ありがたい姿の抽出技術を適用できるようになる 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	教材で活用する「できたこと手帳」に対し、十分な量と質で書かれているか、総合的に判断して決定する。なお、最終校時に記述するレポート内容も成績評価に含まれる。 原則として全回出席を前提とする。ただし、やむを得ず正当な理由で欠席する場合は担当教員に連絡すること。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	【毎日】一日を振り返って、自分ができたことを教科書に書き出す。(1.5H) 【毎週】1週間分のできたことの中から一つ選んでベストとし、[When, Where, Who, What, How]を意識して具体化する。そして、[Why]を意識して、それで十分かを振り返り、工夫を考える。(1.3H) 【5週ごと】5週分のベストを振り返って、それらの共通点を見つける。そして、自分が大切にしていることは何か考える。(1.5H)
キーワード/Keywords	行動科学、認知科学、情動コントロール、メタ認知、行動変容
教科書・教材・参考書/Materials	【教科書】永谷研一『できたこと手帳』, クロスメディア・パブリッシング, 2017年 . ISBN : 9784295401100 【参考書】永谷研一『月イチ10分でできたことを振り返りなさい』, ダイヤモンド社, 2018年 . ISBN : 9784478105221
受講要件（履修条件）/Prerequisites	教科書に各自の考えを書き込んでいくため、必ず購入して、初回授業からノートPCとともに持参すること。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考（URL）/Remarks (URL)	「できたことノート&できたこと手帳」の参考サイト： https://dekitakoto.jp/
学生へのメッセージ/Message for students	できたことノートの方法の体験を通じて、行動科学、認知科学、情動科学が学べるとても有意義な授業となっています。 今後の学生生活はもちろん、社会に出た後も必ず活用する技術ですので、ぜひ積極的に受講して下さい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	丹羽 量久 / 社会基盤構造物の設計・製作に関する線形/非線形構造解析のコンサルテーションおよび技術営業業務、橋梁の自動設計システムのうち変形・応力を計算するソフトウェア群の開発、科学技術やWebに関わるITシステム構築の提案を行う営業業務、既存業務以外の分野における新規事業の開拓・事業化、および関係部署のマネージャーとしての年度計画の立案・数値の管理・統制等の業務。/さまざまな定例業務や企画提案等における活動結果を振り返ることは、その結果の成否にかかわらず、それらの合理的な改善に繋がるとも重要な活動です。授業では、こうした企業での実務経験に基づいた助言を行います。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
6月16日(水) 3校時 リアルタイム型オンライン授業	【ガイダンス】 リアルタイム型オンライン授業 ・授業の概要 ・授業で利用するコラボレーションツールの環境設定と演習 ・この授業に臨むにあたって
6月23日(水) 3校時 リアルタイム型オンライン授業	【自分を肯定的に見る効果】 リアルタイム型オンライン授業 ・欠けている部分に目がいくのは人間の習性 ・「できたこと」を見つけよう 【「できたこと」を磨こう】 ・ありたい姿が見つかる「ベストできたこと」! ・「できたこと」から新たな行動を導く経験学習法とは
7月7日(水) 3校時 リアルタイム型オンライン授業	【感情をコントロールする】 リアルタイム型オンライン授業 ・情動知能 Emotional Intelligence を学ぶ ・能天気な人と楽観的な人はどこが違うのか
7月7日(水) 4校時 リアルタイム型オンライン授業	【行動変容力を身につける】 リアルタイム型オンライン授業 ・できたことメモからできたこと気付き日記へ ・行動を習慣化する7つの技術
7月21日(水) 3校時	【クリティカル・シンキング技術を学ぶ】 対面授業 ・できたことを健全に疑ってみる ・創造的な行動変容を導き出す

7月21日(水) 4校時	【ありがたい姿発見ワーク(1)】 対面授業 ・自分の子供の頃夢中になったことって何？ ・今の自分を見つめ直す
8月4日(水) 3校時	【ありがたい姿発見ワーク(2)】 対面授業 ・ベストできたことから見つける自分の価値観 ・本当の自分を見つめる。ありがたい姿発見！
8月4日(水) 4校時	【さらなる行動実践に向かって】 対面授業 ・全体を通じて学んだこと(レポート記述) ・明日からの自分へのエールを

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/24		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0//1.0
時間割コード / Time schedule code	20210588026402	科目番号 / Course code	05880264
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 16631_002		
授業科目名 / Course title	経験学習実践論(1単位科目) [総合科学科目] / Practical Theory of Experiential Learning		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa, 永谷 研一 / Nagaya Kenichi, 鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa, 永谷 研一 / Nagaya Kenichi, 鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	k-niwa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	ICT基盤センター 2階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2084		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日10:40 ~ 12:00 (事前に電子メールで教員と時間調整を行うこと)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>【授業の概要】</p> <p>皆さんは高い志を持ち、目標を達成したくて大学に入学されたことと思います。日々、学びを継続することは自身との戦いであり、苦勞なさっている方も多いことでしょう。勉強に限らず、「今日はやろう」「明日こそやろう」と思っているにもかかわらず行動に踏み出せないときがあります。本科目では、たとえば、毎日5分間だけ使って自分ができたことを見つけ、週一回10分間振り返る行動を継続することによって、自ら新しい行動を見出していきます。そしてその行動の中で自分の良さに気づき“ありがたい姿”を発見することを目指して学修を進めます。学修するメソッドの各要素は「行動科学」、「認知科学」、「情動コントロール」、「協働学習」の知見に基づいて設計されています。</p> <p>初回授業は、毎日取り組むことを確認します。第2回～第4回の授業は、遠隔地にいる永谷先生と教室の丹羽・鈴木が連携しながら、ビデオ会議システムを使って授業を進めます。その際、皆さんはコラボレーションツールを使って、教員と学生の間および学生同士で意思疎通を図ります。第5回～第8回の授業は、数名で構成されるグループに分かれて、日々学習してきたことについて情報交換して、グループとしてアピールすることをまとめます。さらに、ワールドカフェを行って他グループとの情報共有に取り組み、その結果を自グループの改善に結びつけます。</p> <p>【授業の位置づけ】</p> <p>本科目は教養教育における自由選択科目です。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<p>以下の5つの技術を座学と演習によって身につけることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己肯定感を高める手法として、できたことを見つける技術を活用できるようになる 自分の感情を見つめる手法として、感情コントロール技術を活用できるようになる できたことから次なる行動への気づきを得る、思考法を活用できるようになる 見出した行動計画を確実に実践する、行動変容技術を活用できるようになる 自分の軸を見出す技術として、ありがたい姿の抽出技術を活用できるようになる 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	教材で活用する「できたこと手帳」に対し、十分な量と質で書かれているか、総合的に判断して決定する。なお、最終校時に記述するレポート内容も成績評価に含まれる。 原則として全回出席を前提とする。ただし、やむを得ず正当な理由で欠席する場合は担当教員に連絡すること。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	【毎日】一日を振り返って、自分ができたことを教科書に書き出す。(1.5H) 【毎週】1週間分のできたことの中から一つ選んでベストとし、[When, Where, Who, What, How]を意識して具体化する。そして、[Why]を意識して、それで十分かを振り返り、工夫を考える。(1.3H) 【5週ごと】5週分のベストを振り返って、それらの共通点を見つける。そして、自分が大切にしていることは何か考える。(1.5H)
キーワード/Keywords	行動科学、認知科学、情動コントロール、メタ認知、行動変容
教科書・教材・参考書/Materials	【教科書】永谷研一『できたこと手帳』, クロスメディア・パブリッシング, 2017年 . ISBN : 9784295401100 【参考書】永谷研一『月イチ10分でできたことを振り返りなさい』, ダイヤモンド社, 2018年 . ISBN : 9784478105221
受講要件（履修条件）/Prerequisites	教科書に各自の考えを書き込んでいくため、必ず購入して、初回授業からノートPCとともに持参すること。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考（URL）/Remarks (URL)	「できたことノート&できたこと手帳」の参考サイト： https://dekitakoto.jp/
学生へのメッセージ/Message for students	できたことノートの方法の体験を通じて、行動科学、認知科学、情動科学が学べるとても有意義な授業となっています。 今後の学生生活はもちろん、社会に出た後も必ず活用する技術ですので、ぜひ積極的に受講して下さい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	丹羽 量久 / 社会基盤構造物の設計・製作に関する線形/非線形構造解析のコンサルテーションおよび技術営業業務、橋梁の自動設計システムのうち変形・応力を計算するソフトウェア群の開発、科学技術やWebに関わるITシステム構築の提案を行う営業業務、既存業務以外の分野における新規事業の開拓・事業化、および関係部署のマネージャーとしての年度計画の立案・数値の管理・統制等の業務。/さまざまな定例業務や企画提案等における活動結果を振り返ることは、その結果の成否にかかわらず、それらの合理的な改善に繋がるとても重要な活動です。授業では、こうした企業での実務経験に基づいた助言を行います。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
9月29日(水) 3校時 リアルタイム型オンライン授業	【ガイダンス】 リアルタイム型オンライン授業 ・授業の概要 ・授業で利用するコラボレーションツールの環境設定と演習 ・この授業に臨むにあたって
10月6日(水) 3校時 リアルタイム型オンライン授業	【自分を肯定的に見る効果】 リアルタイム型オンライン授業 ・欠けている部分に目がいくのは人間の習性 ・「できたこと」を見つけよう 【「できたこと」を磨こう】 ・ありたい姿が見つかる「ベストできたこと」! ・「できたこと」から新たな行動を導く経験学習法とは
10月20日(水) 3校時 リアルタイム型オンライン授業	【感情をコントロールする】 リアルタイム型オンライン授業 ・情動知能 Emotional Intelligence を学ぶ ・能天気な人と楽観的な人はどこが違うのか
10月20日(水) 4校時 リアルタイム型オンライン授業	【行動変容力を身につける】 リアルタイム型オンライン授業 ・できたことメモからできたこと気付き日記へ ・行動を習慣化する7つの技術
11月10日(水) 3校時	【クリティカル・シンキング技術を学ぶ】 対面授業 ・できたことを健全に疑ってみる ・創造的な行動変容を導き出す

11月10日(水) 4校時	【ありがたい姿発見ワーク(1)】 対面授業 ・自分の子供の頃夢中になったことって何？ ・今の自分を見つめ直す
11月24日(水) 3校時	【ありがたい姿発見ワーク(2)】 対面授業 ・ベストできたことから見つける自分の価値観 ・本当の自分を見つめる。ありがたい姿発見！
11月24日(水) 4校時	【さらなる行動実践に向かって】 対面授業 ・全体を通じて学んだこと(レポート記述) ・明日からの自分へのエールを

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20210588026601	科目番号 / Course code	05880266
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 16651_002		
授業科目名 / Course title	地域創生と観光 [総合科学科目] / Regional Revitalization and Tourism		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	岡村 克彦 / Okamura Katsuhiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	岡村 克彦 / Okamura Katsuhiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	岡村 克彦 / Okamura Katsuhiko		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	オンライン		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	akk.okamura nifty.com (メールを送信する時は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course overview	この授業はANA総合研究所の実務家教員による授業です。人口減少と高齢化が進行する地域の社会、経済には多くの課題が存在します。長年地域活性化に取り組んできたANA総合研究所の実務家教員の知見と経験者講話、長崎国際観光コンベンション協会の講話やグループワークによるアクティブラーニングを中心に、地域の課題及び観光を中心とした地域活性化を学習していきます。		
授業到達目標 / Course goals	地域の社会、経済に関する諸課題や地域活性化が重要なテーマであることを理解すると共に、地域活性化の大切なツールである観光の概要や課題を理解する。また長崎の観光を中心とした地域活性化策について、自らの視点で問題意識を持った案を持つ。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	平常点30点 (出席状況、受講態度)、期中に出題する1回の個人レポート評価点30点、最終回のグループワーク発表評価点40点の計100点満点での評価のうち、60点満点を合格とする。但し出席回数が2/3に満たない場合は失格とします。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	授業内容の予習・復習を行うと共に、期中1回の個人レポートの作成、グループワークの作業を通じて講義への認識を深めて下さい。 予習：講義前に教材をダウンロードして学習し、不明な点は事前に調べて授業に出ること (2hr) 復習：講義内容を教材などで再読して理解を深めること (2hr)		
キーワード / Keywords	地域の課題、地域の活性化、ニューツーリズム、着地型観光、長崎の観光の強みと弱み、アクティブラーニング、グループワーク		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書はありません。教材は講義前にLACSに掲示します。参考書は講義の中で必要に応じてご連絡します。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	地域問題や地域活性化、観光に関する話題に関心を持つこと、他の学生とグループワークでコミュニケーションを取って共同で学習すること		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948	
備考 (URL) /Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	ANA総合研究所およびANAでの実務経験を活かした実務家教員として、地域政策や観光についての横断的な専門講義を行いながら、グループワークなどのアクティブラーニングで受講学生の学習力を高めていきます。この講座は、長崎大学とANA総合研究所の連携協定による産学連携の講義です。但し今年度は年末の集中講義で行いますので、フィールドワークは実施しない予定です。シラバスは変更することがあります。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	岡村 克彦 (ANA総合研究所)	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	12月25日2限 オリエンテーション (授業の狙いと概要の説明、グループワークの課題の説明など)	A B C D
第2回	12月25日3限 観光講話 (講師 調整中)	A B C D
第3回	12月25日4限 社会の変化と地域について (経済発展と産業構造の変化、都市化の流れ、社会構造と人々の意識の変化)	A B C D
第4回	12月25日5限 これまでの主な国土計画と論点、地域課題など (これまでの主な国土計画と論点、人口減少、高齢化、社会資本老朽化、地域行政などにおける地域課題について)	A B C D
第5回	12月26日2限 理想とすべき地域像と地域政策の方向性 (どのような地域を目指すべきか、各課題に対する民間視点での地域政策の方向性、観光振興政策の必要性)	A B C D
第6回	12月26日3限 観光の概要 (観光の定義と意義、世界と日本における観光の概要や規模、経済効果について)	A B C D
第7回	12月26日4限 観光の概要 (観光資源の保護、国立公園、文化財、世界遺産、日本遺産の概要とニューツーリズムについて)	A B C D
第8回	12月26日5限 グループワーク (長崎の観光関係の課題に対して対応策をグループで考える)	A B C D
第9回	12月27日2限 観光の概要 (日本の観光の変化と政策の変化、DMOについて)	A B C D
第10回	12月27日3限 観光関連産業 (旅行業・宿泊業) (旅行業と宿泊業の制度、業界の概要、キャリア、課題など)	A B C D

第11回	12月27日4限 観光関連産業（航空・鉄道）（航空、鉄道の概要と課題、航空会社、鉄道会社でのキャリアなど）	A B C D
第12回	12月27日5限 グループワーク（長崎の観光関係の課題に対して対応策をグループで考える）	A B C D
第13回	12月28日2限 グループワーク（長崎の観光関係の課題に対して対応策をグループで考える）	A B C D
第14回	12月28日3限 グループワーク（長崎の観光関係の課題に対して対応策をグループで考える）	A B C D
第15回	12月28日4限 グループワーク発表会と講義のまとめ（グループワークの発表会を実施、全体でディスカッション、講義のまとめ）	A B C D

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	202105880266Z1	科目番号 / Course code	05880266
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 16651_002		
授業科目名 / Course title	地域創生と観光[総合科学科目__上限外] / Regional Revitalization and Tourism		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	岡村 克彦 / Okamura Katsuhiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	岡村 克彦 / Okamura Katsuhiko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	岡村 克彦 / Okamura Katsuhiko		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	オンライン		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	akk.okamura nifty.com(メールを送信する時は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業はANA総合研究所の実務家教員による授業です。人口減少と高齢化が進行する地域の社会、経済には多くの課題が存在します。長年地域活性化に取り組んできたANA総合研究所の実務家教員の知見と経験者講話、長崎国際観光コンベンション協会の講話やグループワークによるアクティブラーニングを中心に、地域の課題及び観光を中心とした地域活性化を学習していきます。		
授業到達目標/Course goals	地域の社会、経済に関する諸課題や地域活性化が重要なテーマであることを理解すると共に、地域活性化の大切なツールである観光の概要や課題を理解する。また長崎の観光を中心とした地域活性化策について、自らの視点で問題意識を持った案を持つ。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	平常点30点(出席状況、受講態度)、期中に出題する1回の個人レポート評価点30点、最終回のグループワーク発表評価点40点の計100点満点での評価のうち、60点満点を合格とする。但し出席回数2/3に満たない場合は失格とします。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	授業内容の予習・復習を行うと共に、期中1回の個人レポートの作成、グループワークの作業を通じて講義への認識を深めて下さい。 予習: 講義前に教材をダウンロードして学習し、不明な点は事前に調べて授業に出ること(2hr) 復習: 講義内容を教材などで再読して理解を深めること(2hr)		
キーワード / Keywords	地域の課題、地域の活性化、ニューツーリズム、着地型観光、長崎の観光の強みと弱み、アクティブラーニング、グループワーク		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書はありません。教材は講義前にLACSに掲示します。参考書は講義の中で必要に応じてご連絡します。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	地域問題や地域活性化、観光に関する話題に関心を持つこと、他の学生とグループワークでコミュニケーションを取って共同で学習すること		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948	
備考 (URL) /Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	ANA総合研究所およびANAでの実務経験を活かした実務家教員として、地域政策や観光についての横断的な専門講義を行いながら、グループワークなどのアクティブラーニングで受講学生の学習力を高めていきます。この講座は、長崎大学とANA総合研究所の連携協定による産学連携の講義です。但し今年度は年末の集中講義で行いますので、フィールドワークは実施しない予定です。シラバスは変更することがあります。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	岡村 克彦 (ANA総合研究所)	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	12月25日2限 オリエンテーション (授業の狙いと概要の説明、グループワークの課題の説明など)	A B C D
第2回	12月25日3限 観光講話 (講師 調整中)	A B C D
第3回	12月25日4限 社会の変化と地域について (経済発展と産業構造の変化、都市化の流れ、社会構造と人々の意識の変化)	A B C D
第4回	12月25日5限 これまでの主な国土計画と論点、地域課題など (これまでの主な国土計画と論点、人口減少、高齢化、社会資本老朽化、地域行政などにおける地域課題について)	A B C D
第5回	12月26日2限 理想とすべき地域像と地域政策の方向性 (どのような地域を目指すべきか、各課題に対する民間視点での地域政策の方向性、観光振興政策の必要性)	A B C D
第6回	12月26日3限 観光の概要 (観光の定義と意義、世界と日本における観光の概要や規模、経済効果について)	A B C D
第7回	12月26日4限 観光の概要 (観光資源の保護、国立公園、文化財、世界遺産、日本遺産の概要とニューツーリズムについて)	A B C D
第8回	12月26日5限 グループワーク (長崎の観光関係の課題に対して対応策をグループで考える)	A B C D
第9回	12月27日2限 観光の概要 (日本の観光の変化と政策の変化、DMOについて)	A B C D
第10回	12月27日3限 観光関連産業 (旅行業・宿泊業) (旅行業と宿泊業の制度、業界の概要、キャリア、課題など)	A B C D

第11回	12月27日4限 観光関連産業（航空・鉄道）（航空、鉄道の概要と課題、航空会社、鉄道会社でのキャリアなど）	A B C D
第12回	12月27日5限 グループワーク（長崎の観光関係の課題に対して対応策をグループで考える）	A B C D
第13回	12月28日2限 グループワーク（長崎の観光関係の課題に対して対応策をグループで考える）	A B C D
第14回	12月28日3限 グループワーク（長崎の観光関係の課題に対して対応策をグループで考える）	A B C D
第15回	12月28日4限 グループワーク発表会と講義のまとめ（グループワークの発表会を実施、全体でディスカッション、講義のまとめ）	A B C D

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/28		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20210588026701	科目番号 / Course code	05880267
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 16661_002		
授業科目名 / Course title	今と昔の長崎に遊ぶ[総合科学科目] / Enjoy Thinking about Old and Modern Nagasaki		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉良 史明, 木村 直樹 / Naoki KIMURA, 増崎 英明 / Masuzaki Hideaki, 布袋 厚 / Atsushi Hotei, 王 維 / Wang Wei, 全 炳徳 / Jun Byungdug, 山口 敦子 / Yamaguti Atuko, 才津 祐美子 / Saitu Yumiko, 安武 敦子 / Yasutake Atsuko, 赤澤 祐子 / Akazawa Yuko, 大平 晃久 / Teruhisa Ohira, 出水 享, 前田 桂子 / Keiko Maeda, 南森 茂太 / Minamimori Shigeta, TOET		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉良 史明		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉良 史明, 木村 直樹 / Naoki KIMURA, 増崎 英明 / Masuzaki Hideaki, 布袋 厚 / Atsushi Hotei, 王 維 / Wang Wei, 全 炳徳 / Jun Byungdug, 山口 敦子 / Yamaguti Atuko, 才津 祐美子 / Saitu Yumiko, 安武 敦子 / Yasutake Atsuko, 赤澤 祐子 / Akazawa Yuko, 大平 晃久 / Teruhisa Ohira, 出水 享, 前田 桂子 / Keiko Maeda, 南森 茂太 / Minamimori Shigeta, TOET		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 人文・社会科学科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員メールアドレス/E-mail address	kira nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部625研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2299		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日5限、木曜日2限		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>この授業では、長崎の歴史・文化・経済・言語・哲学等のプロフェッショナル15人が、長崎の隠された魅力を講義し、学生のみなさんとともにその魅力をさらに深く探求していきます。</p> <p>みなさんがご存知の通り、長崎は諸外国との窓口の役割を長らく果たしてきました。ポルトガル・オランダ・中国を始め、外国の文化が流れ込み、日本の文化と融合した都市、それが長崎です。つまり、グローバル化が叫ばれる現代に先駆けて、数百年も前からグローバル化が行われていたのです。その長崎文化の魅力と本質を長崎という文化空間に即して解明すること、いうなればグローバル(グローバルとローカルを掛けた造語)な視点からの検証を行うことが本講義の目的です。長崎の地に住んだ人々がどのように長崎の文化を形作ってきたのか。15回の講義を通して、幅広い教養を身に付け、その教養を駆使して、この疑問に対する答えをともに導き出していきたいと思います。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>この授業では、今と昔の長崎の魅力を深く探求し、その魅力を学生のみなさん一人一人が国内外に向けて発信していけるようになることを大きな目標として掲げます。以下は、その詳細です。</p> <p>様々な文献・資料に基づき、長崎の魅力を調べることができる。</p> <p>長崎の町がどのようにして作られてきたか、歴史に照らして考察することができる。</p> <p>深く探求した長崎の魅力と歴史的な位置付けを自身の言葉で取りまとめ、様々な人に伝えることができる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>成績評価は、次の2つの項目から行います。</p> <p>期末レポート 25%</p> <p>全15回の講義から得たヒントをもとに、みなさんが長崎の文化を詳しく調べ、その魅力をレポートに取り纏めるものです。いまだ解き明かされていない長崎文化の魅力にみなさんがどのようにアプローチするか、独創的かつ具体的なレポートであることを重視します。</p> <p>コメントカード 75%</p> <p>各回の授業終わりの10分間を使い、その回の講義から学んだこと、疑問、御自身の考え等をコメントカードに記入します。コメントカードは第15回講義終了後に返却し、みなさんの学びがどれほど深まったか、ご自身で把握するための資料、また、期末レポートを書くための材料として下さい。</p>	
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照	
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<p>事前学習においては、教科書の内容を読んでおくこと。また、長崎の文化に関して、各回授業のキーワードをもとに図書館2階配架の参考書籍を読み、調べてくること(各回2時間程度の予習)。</p> <p>また、事後学習にあたっては、授業内容、さらに参考書籍を再度読み直し、自身独自の観点から長崎文化を深く探求すること。さらに、長崎歴史文化博物館と本学はキャンパスメンバーズの提携しており、無料で常設展特別展を観覧できます。同博物館には長崎の歴史文化を物語る数多くの資料が収蔵展示されていますので、学期中一度は足を運んで下さい。(各回2時間程度の復習かつ独自学習)。</p>	
キーワード/Keywords	長崎、詳細は各回の授業キーワードを参照	
教科書・教材・参考書/Materials	『今と昔の長崎に遊ぶ』(九州大学出版会、2021年)。また、参考書は、図書館2階に授業資料コーナーを作り配架していますので、皆さんぜひ積極的に読んで下さい。参考書は、各回担当教員の著書、また学術論文等です。	
受講要件(履修条件)/Prerequisites	長崎に興味がある方は、どなたでも大歓迎です!	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>	
備考(URL)/Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	みなさんがいまいるこの長崎は、国内はもちろん世界からも注目されている街です。長崎の魅力を深く、そして多角的に考えることを通して、その魅力を世界に向けて発信していきましょう。また、グローバル化社会に生きる私たちが明日をより良く生きるための力とヒントが長崎の街には隠されています。その隠されたヒントをともに見つけていきましょう。	
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name/Details of practical experience/Contents of course		
授業計画詳細/Course Schedule		
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents	授業手法/
第1回 4月14日	巨樹の記憶 増崎英明 《被爆クスノキ》	A B
第2回 4月21日	ポルトガル人が聞いた室町末期の長崎ことば 前田 桂子 《長崎方言》	A B
第3回 4月28日	近世貿易都市長崎の特質を考える 尾曲がり猫はどこからきたか 木村直樹 《長崎貿易》	A B
第4回 5月12日	長崎の鎮守諏訪神社 吉良史明 《諏訪神社》	A B
第5回 5月19日	交響する長崎の中国文化 王維 《中国文化》	A B
第6回 5月26日	原爆投下直前の長崎 とくに長崎大学の前身とキャンパスの歴史について 布袋厚 《原爆 長崎の古地図》	A B
第7回 6月2日	出島オランダ商館で書かれた最後の日本文典の成立とその背景 TOET RUDY 《『日本文法稿本』》	A B
第8回 6月9日	長崎における海軍伝習 南森茂太 《海軍伝習所》	A B
第9回 6月16日	倉場富三郎が遺した日本西部及南部魚類図譜(通称:グラバー図譜) 山口敦子 《グラバー図譜》	A B

第10回 6月23日	長崎医科大生たちの1945年 赤澤祐子 《長崎医科大生、短歌》	A B
第11回 6月30日	長崎に誕生した西洋式病院 安武敦子 《西洋式建築》	A B
第12回 7月7日	長崎の岬を3Dで表現してみる 全炳徳 《長崎の岬》	A B
第13回 7月14日	長崎の世界遺産 「潜伏キリシタン関連遺産」の問題点と今後の課題 才津祐美子 《長崎の世界遺産》	A B C D
第14回 7月21日	軍事都市としての長崎 大平晃久 《軍事都市》	A B
第15回 7月28日	軍艦島の今と未来 出水享 《軍艦島》	A B D

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/09		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20210588026801	科目番号 / Course code	05880268
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 16671_002		
授業科目名 / Course title	アントレプレナーシップ入門[総合科学科目] / Introduction to Entrepreneurship		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	上條 由紀子		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	上條 由紀子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	上條 由紀子		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学部(情報データ科学部・多文化社会学部・多文化社会学科・教育学部・経済学部・医学部・歯学部・薬学部・工学部・環境科学部・水産学部)の学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kamiyo@nagasaki-u.ac.jp (担当教員: 上條由紀子) y-junji@nagasaki-u.ac.jp (担当教員: 山下淳司) メール連絡時は, 必ず両教員宛に同報して下さい。		
担当教員研究室/Office	研究開発推進機構FFGアントレプレナーシップセンター(工学部2号館2階オープンラボ3)		
担当教員TEL/Tel	095-800-4121 (FFGアントレプレナーシップセンター事務局: 平日9時~17時対応可能)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールまたは電話でアポイントを取って下さい。面談等は原則として授業実施日の授業前後の時間帯になります。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本授業では, アントレプレナーシップの基礎を学習します。変化が激しく不確実性の高い現代において, 自立心, 向上心を持って課題解決に取り組み, 新しい価値創造にチャレンジできるアントレプレナーが必要とされています。本授業では, 自分自身のキャリア構築につなげる視点を持ちながら, アントレプレナーに必要なマインドセット(アントレプレナーシップ)や必要なスキルについて学習します。また, ベンチャー, 大企業, 官公庁など実社会の様々な現場で活躍されている実務家の方々を招き, 社会課題解決及び新価値創造への取り組みとアントレプレナーシップの重要性について学習します。		
授業到達目標/Course goals	・国際(グローバル), 社会(ソーシャル), 地域(ローカル), 技術(テクノロジー), SDGsなどの多面的な視野・視座・視点を持って様々な課題を捉え, それを解決するため新しい価値創造にチャレンジすることができるマインドセット(アントレプレナーシップ)とはどのようなものかを知り, それに必要な基礎的なスキルを理解し, 自立心を持って第一歩を踏み出せるようになる。 ・本授業では, 産・官・学・公など様々なセクターで実務に携わっている社会人, ベンチャー企業の社長, 企業で新規事業立上げを行っている方などの講義や彼らとの対話を通じて, 「アントレプレナーシップ」とは何かを知り, 自分自身のキャリアにおいて「アントレプレナーシップ」を身につける意義と重要性を学ぶことができる。		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への出席状況および授業への参加状況(発言・質問等)30点、授業毎に提出する課題レポート70点、合計100点として教員が総合的に評価する(60点以上を合格とする)。		

各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習として授業で用いる資料やプリント教材等を予め配布するので目を通して授業に臨むこと（2h）。事後学習として、授業後に出された課題レポートを作成しLACS等を通じて提出すること（2h）。
キーワード/Keywords	アントレプレナー、キャリア、アントレプレナーシップ、企業家精神、イノベーション、テクノロジー、事業機会、ベンチャー、スタートアップ、ソーシャルビジネス、SDGs、プラネタリーヘルス、地域創生、アイデア創出、組織、チーム、ファイナンス、資金調達
教科書・教材・参考書/Materials	授業において資料・プリント教材を配布する。 <参考書> ・アントレプレナーシップ入門ーベンチャーの創造を学ぶ（忽那 憲治、長谷川 博和他著） ・はじめてのアントレプレナーシップ論（中村博樹著） ・入門起業の科学（田所雅之著） ・日経文庫経営学入門シリーズ ベンチャー企業（松田修一著）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	受講要件（履修条件）は特になし。 なお、FFGアントレプレナーシップセンター教育プログラムのうち、教育教養科目「アイデア創出・デザイン思考入門」（2Q）、「事業創造・スタートアップ入門」（3Q）を本授業とあわせて受講することにより、さらに効果的な学習を進めることができます。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	http://www.nfec.nagasaki-u.ac.jp/ 最新情報はWEBサイトを参照すること。
学生へのメッセージ/Message for students	不確実性が高く先読みが難しい現代において、自立心、向上心を持って課題解決に取り組み、新しい価値創造にチャレンジする「アントレプレナーシップ」は、学生諸君皆さんに身に着けてほしいマインドセットであり、どのような問題に面しても、それを乗り越えて未来に進んでいく力につながります。多くの学生諸君の参加を期待しています。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	上條由紀子/山下淳司/菊池紳/小松崎友子/他 授業実施方法、最新のゲスト講師及びスケジュールの変更、講師実務経験内容等、最新情報はWEBサイトを参照すること。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回：4月14日（水）5・6時限	・オリエンテーション（授業概要及び進め方） ・アントレプレナーシップとは何か ・アントレプレナーシップの意義と重要性 ・イノベーションとアントレプレナーシップ ・アントレプレナーとはどのような人か ・自己のキャリア構築とアントレプレナーシップ
第2回：4月21日（水）5・6時限	・組織（大企業、中小企業、ベンチャー、非営利活動法人、行政等）とアントレプレナーシップ ・ゲストによる講義 / グループディスカッション / 質疑応答
第3回：4月28日（水）5・6時限	・社会課題を解決するソーシャル・アントレプレナーシップ ・ゲストによる講義 / グループディスカッション / 質疑応答
第4回：5月12日（水）5・6時限	・地域とアントレプレナーシップ ・ゲストによる講義 / グループディスカッション / 質疑応答
第5回：5月19日（水）5・6時限	・ベンチャー企業とアントレプレナーシップ ・ゲストによる講義 / グループディスカッション / 質疑応答
第6回：5月26日（水）5・6時限	・起業及び新規事業立上げのプロセスとアントレプレナーシップ ・ゲストによる講義 / グループディスカッション / 質疑応答
第7回：6月2日（水）5・6時限	・組織・チーム構築とアントレプレナーシップ ・ゲストによる講義 / グループディスカッション / 質疑応答
第8回：6月9日（水）5時限	あなたにとってのアントレプレナーシップについて考える / 総括・まとめ

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2021/06/10 ~ 2021/08/04		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20210588026901	科目番号 / Course code	05880269
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 16681_002		
授業科目名 / Course title	アイデア創出・デザイン思考入門[総合科学科目] / Introduction to Idea Creation and Design Thinking		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	上條 由紀子		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	上條 由紀子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	上條 由紀子		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学部(情報データ科学部・多文化社会学部・多文化社会学科・教育学部・経済学部・医学部・歯学部・薬学部・工学部・環境科学部・水産学部)の学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kami.jo@nagasaki-u.ac.jp(担当教員:上條由紀子) メール連絡時は,必ず両教員宛に同報して下さい。		
担当教員研究室/Office	研究開発推進機構FFGアントレプレナーシップセンター(工学部2号館2階オープンラボ3)		
担当教員TEL/Tel	095-800-4121(FFGアントレプレナーシップセンター事務局:平日9時~17時対応可能)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールまたは電話でアポイントを取って下さい。面談等は原則として授業実施日の授業前後の時間帯になります。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本授業では、「問いの立て方」、「アイデアを創出する技術(創造技法)」、「ファンクショナル・アプローチ」及び「デザイン思考」を学習します。これらは、多面的な視野・視座・視点を持ちながら問題を発見し、それらを解決するアイデアを考案してイノベーション創出につなげるために必要な入門スキルです。本授業では「問いの立て方」として、いい問いとは何かを考えることを通じて、いい問いの立て方について学びます。そして、「アイデアを創出する技術」として問題発見、アイデア発想、アイデア発展の基礎的手法を学習します。次に、問題解決へ取り組む際、ファンクション(機能・効用・役割・意図・目的・狙い等)に置き換えてから解決する革新的技術である「ファンクショナル・アプローチ」を学びます。最後に、顧客視点・ユーザー視点で対話を重視した問題解決手法である「デザイン思考」の基礎について学習します。なお、本授業では講義と演習(グループワーク)を組み合わせて実施します。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・いい問いは何かを考えることを通じて、いい問いの立て方について習得できる。 ・アイデアを創出する技術(創造技法)として、問題発見,アイデア発想,アイデア発展に関する基礎的手法を習得できる。 ・問題解決へ取り組むに当たり,一度ファンクション(機能・効用・役割・意図・目的・狙い等)に置き換えてから解決を試みる革新的な技術であるファンクショナル・アプローチの基礎を習得できる。 ・顧客視点・ユーザー視点で対話を重視した問題解決手法であるデザイン思考のプロセス(共感・理解・定義・アイデア創出・プロトタイプ・テスト)について習得できる。 ・アイデア創出手法や問題解決手法を習得することにより,自身や社会の問題・課題に対して新しい選択枝や解決手段を創り出せるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への出席状況及び参加態度（質問・発言等）30点、グループワーク演習取り組み状況40点、課題レポート30点、合計100点として教員が総合的に評価する（60点以上を合格とする）。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習として授業で用いる資料・プリント教材等を予め配布をするので目を通して授業に臨むこと(2h)。事後学習としてグループワーク演習に対する課題や復習課題としてのレポートを作成しLACS等を通じて提出すること(2h)。
キーワード/Keywords	問いの立て方, アイデア, 創造力, 創造技法, ファンクショナルアプローチ, デザイン思考, 問題解決, ブレインストーミング, ワークショップ, 顧客視点, コミュニケーション, イノベーション, アントレプレナー
教科書・教材・参考書/Materials	授業において資料・プリント教材を配布する。 <参考書> ・問いの立て方（ちくま新書）（宮野公樹著） ・アイデア・スイッチ（石井力重著） ・考具（加藤昌治著） ・「誰のため?」「何のため?」から考えよう GE流・問題解決の技術「ファンクショナル・アプローチ」のすすめ（横田尚哉著） ・デザイン思考が世界を変える:イノベーションを導く新しい考え方（ティム・ブラウン著）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	受講要件（履修条件）は特になし。 なお、FFGアントレプレナーシップセンター教育プログラムのうち、教育教養科目「アントレプレナーシップ入門」（1Q）、「事業創造・スタートアップ入門」（2Q）を本授業とあわせて受講することにより、さらに効果的な学習を進めることができます。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	http://www.nfec.nagasaki-u.ac.jp/ 最新情報はWEBサイトを参照すること。
学生へのメッセージ/Message for students	不確実性が高く先読みが難しい現代において、課題を発見し、その課題の解決策を自ら創り出すスキルはアントレプレナーを目指す方のみならず、学生諸君皆さんに身に付けてほしい武器であり、自決心を持って未来を生き抜く力につながります。新しいアイデアを創り出して、自分や社会の課題解決に取り組んでみたい学生諸君の参加を期待しています。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	上條由紀子/山下淳司/宮野公樹/石井力重/大塚智子/横田尚哉/三宅泰世(予定) 授業実施方法, ゲスト講師及びスケジュールの変更, 講師実務経験内容等, 最新情報はWEBサイトを参照すること。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回: 6月16日(水) 5・6時限	問いの立て方を学ぶ いい問いとは何かを考える / 「いい問い」にする方法 / 「いい問い」の見つけ方
第2回: 6月23日(水) 5・6時限	アイデアを創出する技術(1): 問題発見、アイデア発想、アイデア発展を学ぶ。 発想の特性 / ブレインストーミング・カード / 6 観点 演習: アイデアの型 (SCAMPER法)

第3回：6月30日（水）5・6時限	アイデアを創出する技術（2）：問題発見、アイデア発想、アイデア発展を学ぶ。 演習：PPGプレスト / エクスカーション / カラーバス
第4回：7月8日（水）5・6時限	アイデアを創出する技術（3）：問題発見、アイデア発想、アイデア発展手法を学ぶ。 演習：Zebraプレスト / フェルミ推定 / アイデア・ピボット
第5回：7月14日（水）5・6時限	ファンクショナル・アプローチ：問題解決手法として、ファンクション（機能、効用、役割、意図、目的、狙い等）に置き換えてから解決する革新的技術について学ぶ。
第6回：7月21日（水）5・6時限	デザイン思考（1）：デザイン思考とは何か、デザイン思考のプロセス（共感・理解、定義、アイデア創出、プロトタイプ、テスト）について学ぶ。
第7回：7月28日（水）5・6時限	デザイン思考（2）デザイン思考を活用した事例を知る。 演習：デザイン思考グループワーク演習
第8回：8月4日（水）5時限	アイデア創出・問題解決手法を活用した総合演習 / 総括

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2021/06/10 ~ 2021/08/04		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210590090501	科目番号 / Course code	05900905
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 11261_001		
授業科目名 / Course title	平和講座[総合科学科目] / On the Peace		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	戸田 清 / Toda Kiyoshi, 篠崎 正人 / Shinozaki Masato, 国武 雅子 / Kunitake Masako, 富塚 明 / Tomiduka Akira, 友澤 悠季 / Tomozawa Yuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	戸田 清 / Toda Kiyoshi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	戸田 清 / Toda Kiyoshi, 篠崎 正人 / Shinozaki Masato, 国武 雅子 / Kunitake Masako, 富塚 明 / Tomiduka Akira, 友澤 悠季 / Tomozawa Yuki		
科目分類 / Course Category	A科目群 総合科目, 総合科学科目, 自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	toda nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部 4階環404戸田教員室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2726		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜午後4時から5時、在室ならいつでも可		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	長崎大学文教キャンパスは三菱兵器製作所大橋工場の跡地であり、ここでは学徒動員令や女子挺身 勤労令などによって動員された多くの若者たちが航空機用魚雷の生産に従事中、原爆によって、そ の多くが爆死した。敗戦後、日本人は「人間相互の関係を支配する崇高な理想を自覚」し、国家再 建の基礎を「人類普遍の原理」に求めて戦争を放棄し、「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼 して安全と生存を保持しよう」と決意した。」1983年に始まった本講座は、その決意を受け継ぎ、平 和を愛し探究心に富む学生諸君の思索と生活の原点に資すべく、戦争・暴力・平和についての基礎 的資料と基本的な分析理論を提供しゆとするものである。		
授業到達目標/Course goals	戦争の実態、暴力と平和についての認識を深め、世界の情勢を深く理解し、基本的人権を尊重して 自由と平和と平等を愛する文化国家の建設に努める態度を身につけることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート100%。出席を欠かさず、受講することを重視する立場から、講義への取り組みの積極 性と担当講師が課したレポートの作成を総合的に評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業期間中の任意の日時に、岡まさはる記念長崎平和資料館(月曜休館、JR長崎駅前のNHK横の 坂をのぼり、カトリック26聖人記念館のすぐ先)を訪問してください。そのレポートを提出すれば 加点します。なお長崎原爆資料館のレポートも加点になります。		
キーワード/Keywords	戦争、暴力、平和、格差、原爆、原発、枯葉剤、劣化ウラン、有事体制、イラク戦争、構造的暴力 、死刑、テロ、集団的自衛権		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は戸田清『人はなぜ戦争をするのか』法律文化社2019年。プリント資料を適宜配布し、また スライド、DVD、ビデオなどを利用して、講義の理解を深めるのに役立つ。参考書は高橋 舟 越編『ナガサキから平和学する』法律文化社2009年など。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	受講要件は特にない。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	http://todakiyosi.web.fc2.com/
学生へのメッセージ/Message for students	被爆地の大学に学ぶ学生として、書籍、新聞、テレビ、インターネットなどを通じて戦争、暴力、平和をめぐる世界と日本の動向に関心をもってほしい。IS邦人人質事件などにも関心。原爆資料館だけでなく、岡まさはる記念長崎平和資料館も訪れてほしい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	山川 剛/長崎平和推進協会、長崎の証言の会をとおして1998 年からの被爆体験の語り手としての実務経験を有している。/担当予定教員は、8 歳で被爆し、長崎市平和推進協議会、長崎証言の会、長崎被爆教職員会の会員の会として、活水高校での長崎平和学の担当、被爆体験講和等を行い、長崎の被爆の語り部として勤めてきた実務経験を活かし、学生に長崎の歴史を伝える授業を実施する。/ 西岡 由香/日本の漫画家。長崎県長崎市出身。「さらん」のペンネームも持つ。1999年に平和団体ピースポート主催による地球一周クルーズへの参加をきっかけに、平和をテーマにした漫画を数多く執筆した経験を有している。/著名な漫画家で郷土史（キリスト教関係など）と長崎原爆に詳しく、ピースポートでのパレスチナ訪問など海外経験などの実務経験を活かした内容（「世界から見たナガサキ」「原爆とキリスト教」を演題）で授業を実施する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1 6月16日5限	戸田 日本軍七三一部隊
2 6月16日6限	戸田 ナチスドイツのT4作戦、ホロコースト
3 6月23日5限	友澤悠季 被爆者福田須磨子について
4 6月23日6限	国武雅子 満蒙開拓団と性暴力
5 6月30日5限	国武 日本軍「慰安婦」問題
6 6月30日6限	戸田清 劣化ウラン弾と枯葉剤
7 7月7日5限	山川剛 長崎原爆被爆とその後
8 7月7日6限	戸田 死刑制度と冤罪について
9 7月14日5限	山崎年子 二重被爆の父と生きる
10 7月14日6限	休講
11 7月21日5限	西岡由香 原爆の漫画について
12 7月21日6限	西岡 ピースポートの世界一周
13 7月28日5限	篠崎正人 在日米軍について
14 7月28日6限	篠崎 東アジアの平和について
15 8月4日5限	富塚明 原爆、核兵器廃絶運動、原爆症認定裁判
16 8月4日6限	富塚 原発と核燃料サイクル なお定期試験はありません

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/24		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210590090502	科目番号 / Course code	05900905
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 11261_001		
授業科目名 / Course title	平和講座 [総合科学科目] / On the Peace		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	戸田 清 / Toda Kiyoshi, 関口 達夫 / Sekiguchi Tatsuo, 国武 雅子 / Kunitake Masako, 富塚 明 / Tomiduka Akira, 友澤 悠季 / Tomozawa Yuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	戸田 清 / Toda Kiyoshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	戸田 清 / Toda Kiyoshi, 関口 達夫 / Sekiguchi Tatsuo, 国武 雅子 / Kunitake Masako, 富塚 明 / Tomiduka Akira, 友澤 悠季 / Tomozawa Yuki		
科目分類 / Course Category	A 科目群 総合科目, 総合科学科目, 自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	toda nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部 4 階環404戸田教員室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2726		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜午後 4 時から 5 時。在室ならいつでも可。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	長崎大学文教キャンパスは三菱兵器製作所大橋工場の跡地であり、ここでは学徒動員令や女子挺身 勤労令などによって動員された多くの若者たちが航空機用魚雷の生産に従事中、原爆によって、そ の多くが爆死した。敗戦後、日本人は「人間相互の関係を支配する崇高な理想を自覚し」、国家再 建の基礎を「人類普遍の原理」に求めて戦争を放棄し、「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼 して安全と生存を保持しよう」と決意した。」1983年に始まった本講座は、その決意を受け継ぎ、平 和を愛し探究心に富む学生諸君の思索と生活の原点に資すべく、戦争・暴力・平和についての基礎 的資料と基本的な分析理論を提供しようとするものである。		
授業到達目標/Course goals	戦争の実態、暴力と平和についての認識を深め、世界の情勢を深く理解し、基本的人権を尊重して 自由と平等と平和を愛する文化国家の建設に努める態度を身につけることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート100%。出席を欠かさず、受講することを重視する立場から、講義への取り組みの積極 性と担当講師が課したレポートの作成を総合的に評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業期間中の任意の日時に、岡まさはる記念長崎平和資料館 (月曜休館、JR長崎駅前のNHK横の 坂をのぼり、カトリック26聖人記念館のすぐ先) を訪問してください。そのレポートを提出すれば 加点します。なお長崎原爆資料館のレポートも加点になります。		
キーワード/Keywords	戦争、暴力、平和、格差、原爆、原発、枯葉剤、劣化ウラン、有事体制、イラク戦争、構造的暴力 、死刑、集団的自衛権、テロ		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は戸田清『人はなぜ戦争をするのか』法律文化社2019年。プリント資料を適宜配布し、また スライド、ビデオ、DVDなどを利用して、講義の理解を深めるのに役立つ。参考書は高橋・舟 越編『ナガサキから平和学する』法律文化社2009年、など。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	受講要件は特にない。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	http://todakiyosi.web.fc2.com/
学生へのメッセージ/Message for students	被爆地の大学に学ぶ学生として、書籍、新聞、テレビ、インターネットなどを通じて戦争、暴力、平和をめぐる世界と日本の動向に関心をもってほしい。ISの人質事件などにも関心をもってほしい。長崎原爆資料館だけでなく、岡まさはる記念長崎平和資料館も訪れてほしい。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	川副氏は被爆者の立場から、山崎氏は被爆二世の立場から、長崎原爆についての語り部活動を長年行ってきた。関口氏は、NBC社員として、定年退職後はフリーランスとして、長年原爆や平和の報道に携わってきた。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1 9月29日5限	戸田清 日本軍七三一部隊
2 9月29日6限	戸田 ナチスドイツのT4作戦、ホロコースト
3 10月6日5限	友澤悠季 被爆者福田須磨子について
4 10月6日6限	富塚明 日米安保体制について
5 10月13日5限	国武雅子 満蒙開拓団と性暴力
6 10月13日6限	国武 日本軍「慰安婦」問題
7 10月20日5限	国武 優生保護法と強制不妊
8 10月20日6限	戸田 枯葉剤と劣化ウラン弾
9 10月27日5限	川副忠子 長崎原爆と平和教育、核兵器廃絶運動
10 10月27日6限	戸田 死刑制度と冤罪について
11 11月10日5限	山崎年子 二重被爆の父と生きる
12 11月10日6限	富塚明 原爆、核兵器廃絶運動、原爆症認定裁判
13 11月17日5限	富塚 原発と核燃料サイクルについて
14 11月17日6限	関口達夫 長崎原爆を報道する、外国人被爆者問題
15 11月24日5限	関口 戦争と集団的自衛権、敵基地攻撃能力
16 11月24日6限	休講 定期試験は行いません。

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 2ク ォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2021/06/10 ~ 2021/08/04		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20210596000901	科目番号 / Course code	05960009
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	キャリア開発 「コミュニケーション概論」[総合科学科目] / Career Development 'Introduction to Communication''		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	矢野 香 / Yano Kaori		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	矢野 香 / Yano Kaori		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	矢野 香 / Yano Kaori		
科目分類 / Course Category	総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kyano_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	キャリアセンター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2087		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールか電話でアポイントを取ってください。 kyano_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	私たちは日々、自分の思いや考えを伝えながら他者とコミュニケーションをとっています。 円滑にコミュニケーションをとったり、望んだ人間関係を築いたりするためには、コミュニケーション スキルと自己表現スキルを身につけることが必要です。 心理学の見地から「コミュニケーション論」について学びながら、 「話す」「聞く」「書く」といった自己表現力、そしてそのために必要な「考える力」を実習や演 習形式・ワークショップ形式で実践的に育成します。		
授業到達目標/Course goals	(1) 他者とのコミュニケーションをとるために、目的に応じた自分のコミュニケーションスキル について計画を立てることができるようになる。 (2) 他者を観察し理解し、他者と自己を比較することによって、客観的に自己分析することが できるようになる。 (3) グループの中で自分の意見や考えを主張し、チームで共修・協働しながら意見をまとめるこ とができるようになる。 (4) 言語表現・非言語表現のスキルを使って、自分の思いや伝えたい内容を伝えることができる ようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	予習・復習課題(5点×7回)+プレゼンテーション課題(10点+15点)+ワーク・リポート課題(25点)+ 授業貢献度(5点)=合計100点のうち60点以上を合格とする。 なお、授業に出席した時数が3分の2に達しない場合は、失格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習(2h)...課題として資料やパワーポイント作成し、LACSから提出。 復習(2h)...講義内容を受けて課題としてレポートや動画など作成し、LACSから提出。
キーワード/Keywords	コミュニケーションスキル、自己表現スキル、スピーチ、プレゼンテーション、キャリア、アカデミックスキル
教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じて資料や参考文献をLACSに掲載。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	講義中のワークに主体的に取り組む態度が身につけていること。 自分の考えをまとめ、表現しようという意欲があること。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	「他人とコミュニケーションをとることは得意」「人前に出ることが好き」という方はもちろん、「もしかして自分ってコミュ障?」と苦手意識を持っている方も大歓迎です。 企業が新卒採用選考で重視するポイントは、「コミュニケーション能力」が16年連続で第1位(経団連調査2018)。 社会に出てからはもちろん、学生時代も他者と良好な関係を築くために欠かせないコミュニケーション力について、学生のうちから学術的に学び、トレーニングで身につけておきましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	矢野 香/日本放送協会(NHK)アナウンスにて報道番組のキャスター歴17年を経て現職。 在局中から大学院に社会人入学。スピーチ・プレゼンテーション研究を行い、博士号取得。専門は心理学・コミュニケーション論。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	6月16日(水) オリエンテーション
第2回	6月16日(水) コミュニケーションとは?
第3回	6月23日(水) 自己理解・他者理解
第4回	6月23日(水) 自己表現概論
第5回	6月30日(水) ことばと文字のコミュニケーション ~書く・話す・読む・聞く
第6回	6月30日(水) しぐさのコミュニケーション ~表情・視線・ジェスチャー
第7回	7月7日(水) 人前で話す~プレゼンテーション実習
第8回	7月7日(水) 人前で話す~プレゼンテーション実習
第9回	7月14日(水) 人前で話す~プレゼンテーション実習
第10回	7月14日(水) オンラインコミュニケーション
第11回	7月21日(水) 伝わるコミュニケーションのコツ
第12回	7月21日(水) 伝わるコミュニケーションのコツ

第13回	7月28日(水) コミュニケーション・トレーニング ～リーダーシップ
第14回	7月28日(水) コミュニケーション・トレーニング ～感情コントロール
第15回	8月4日(水) まとめ

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/09/26		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20210596001101	科目番号 / Course code	05960011
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	キャリア開発 「プレゼンテーション基礎」[総合科学科目] / Career Development ''Presentation Basics''		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	矢野 香 / Yano Kaori		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	矢野 香 / Yano Kaori		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	矢野 香 / Yano Kaori		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kyano_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	キャリアセンター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2087		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールか電話でアポイントを取ってください。 kyano_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	プレゼンテーションについて講義と演習を行い、効果的なプレゼンテーションを行うための基本的知識を身につける。スキルトレーニングを行いながら講義内で一つのプレゼンテーションを作り上げることで、実践的な技術の修得を目的とする。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションの基礎的な知識について説明できるようになる。 ・目的に応じた効果的なプレゼンテーションを行うための案を立てることができるようになる。 ・聴き手を意識したわかりやすい説得力のあるプレゼンテーションができるようになる。 ・他者のプレゼンテーションを評価することができるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	リポート課題(10点×4回)+プレゼンテーション課題(20点×2回)+ワーク課題(15点)+授業への取り 組み(5点)=合計100点のうち60点以上を合格とする。 なお、授業に出席した時数が3分の2に達しない場合は、失格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習(2h)...パワーポイントで資料や原稿等を作成し、LACSから提出。 復習(2h)...講義内容を受けて課題としてリポートやプレゼンテーション等作成し、LACSから提出。		
キーワード/Keywords	自己表現、スピーチ、プレゼンテーション、キャリア、アカデミックスキル		
教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じて資料配布、参考文献や参考動画をLACSで提示する。		

受講要件 (履修条件) / Prerequisites	日曜日開講の集中講義です。日程確認のうえ受講してください。 5月30日(日) 10時から17時20分 6月6日(日) 10時から17時20分 6月20日(日) 10時から17時20分 7月4日(日) 13時から17時20分
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) / Remarks (URL)	講義の集大成としてのプレゼンテーション大会には、プレゼンターとしての登壇、または審査員としての参加のどちらかを選ぶことが可能。
学生へのメッセージ/Message for students	プレゼンテーションは、ただ「場数」を踏んだだけでは上手くなりません。学術的な知識を知った上で行う正しい方法によるトレーニングが必要です。学生時代はもちろん社会に出てからも必須であるプレゼンテーションスキルを身につけましょう。 「プレゼンは得意」「人前に出ることが好き」という方はもちろん、「プレゼンなんてしたことない」「緊張して頭が真っ白になる」と苦手意識を持っている方も大歓迎です。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	矢野 香/日本放送協会(NHK)アナウンスにて報道番組のキャスター歴17年。起業後、政治家・経営者などにスピーチ・プレゼンテーション指導を行う。講演・研修実績多数。 著書に『その話し方では軽すぎます! エグゼクティブが鍛えている「人前で話す技法」』(すばる舎) 『【NHK式+心理学】一分で一生の信頼を勝ち取る法』(ダイヤモンド社) などベストセラー多数。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 5月30日(日)	オリエンテーション
第2回 5月30日(日)	プレゼンテーションとは? プレゼンテーションの歴史、スピーチとプレゼンテーションの違い
第3回 5月30日(日)	言語・非言語概論
第4回 5月30日(日)	プレゼンテーション実践
第5回 6月6日(日)	言語スキルトレーニング ~話の組み立て方・言葉遣い
第6回 6月6日(日)	論理的に話す技法
第7回 6月6日(日)	伝わるプレゼンテーションのコツ
第8回 6月6日(日)	プレゼンテーション実践
第9回 6月20日(日)	非言語スキルトレーニング ~表情・ジェスチャートレーニング、ボイトレーニング
第10回 6月20日(日)	上手いプレゼンテーションとは?
第11回 6月20日(日)	プレゼンテーション評価の基準
第12回 6月20日(日)	プレゼンテーション実践
第13回 7月4日(日)	プレゼンテーション大会 【注意】場所:中部講堂
第14回 7月4日(日)	プレゼンテーション大会 【注意】場所:中部講堂
第15回 7月4日(日)	プレゼンテーション大会 【注意】場所:中部講堂

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/09/26		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	202105960011Z1	科目番号 / Course code	05960011
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	キャリア開発 「プレゼンテーション基礎」[総合科学科目_上限外] / Career Development 'Presentation Basics'		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	矢野 香 / Yano Kaori		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	矢野 香 / Yano Kaori		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	矢野 香 / Yano Kaori		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kyano_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	キャリアセンター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2087		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールか電話でアポイントを取ってください。 kyano_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	プレゼンテーションについて講義と演習を行い、効果的なプレゼンテーションを行うための基本的知識を身につける。スキルトレーニングを行いながら講義内で一つのプレゼンテーションを作り上げることで、実践的な技術の修得を目的とする。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションの基礎的な知識について説明できるようになる。 ・目的に応じた効果的なプレゼンテーションを行うための案を立てることができるようになる。 ・聴き手を意識したわかりやすい説得力のあるプレゼンテーションができるようになる。 ・他者のプレゼンテーションを評価することができるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	リポート課題(10点×4回)+プレゼンテーション課題(20点×2回)+ワーク課題(15点)+授業への取り組み(5点)=合計100点のうち60点以上を合格とする。 なお、授業に出席した時数が3分の2に達しない場合は、失格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	予習(2h)...パワーポイントで資料や原稿等を作成し、LACSから提出。 復習(2h)...講義内容を受けて課題としてリポートやプレゼンテーション等作成し、LACSから提出。		
キーワード / Keywords	自己表現、スピーチ、プレゼンテーション、キャリア、アカデミックスキル		
教科書・教材・参考書 / Materials	必要に応じて資料配布、参考文献や参考動画をLACSで提示する。		

受講要件 (履修条件) / Prerequisites	日曜日開講の集中講義です。日程確認のうえ受講してください。 5月30日(日) 10時から17時20分 6月6日(日) 10時から17時20分 6月20日(日) 10時から17時20分 7月4日(日) 13時から17時20分
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) / Remarks (URL)	講義の集大成としてのプレゼンテーション大会には、プレゼンターとしての登壇、または審査員としての参加のどちらかを選ぶことが可能。
学生へのメッセージ/Message for students	プレゼンテーションは、ただ「場数」を踏んだだけでは上手くなりません。学術的な知識を知った上で行う正しい方法によるトレーニングが必要です。学生時代はもちろん社会に出てからも必須であるプレゼンテーションスキルを身につけましょう。 「プレゼンは得意」「人前に出ることが好き」という方はもちろん、「プレゼンなんてしたことない」「緊張して頭が真っ白になる」と苦手意識を持っている方も大歓迎です。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	矢野 香/日本放送協会(NHK)アナウンスにて報道番組のキャスター歴17年。起業後、政治家・経営者などにスピーチ・プレゼンテーション指導を行う。講演・研修実績多数。 著書に『その話し方では軽すぎます! エグゼクティブが鍛えている「人前で話す技法」』(すばる舎) 『【NHK式+心理学】一分で一生の信頼を勝ち取る法』(ダイヤモンド社) などベストセラー多数。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 5月30日(日)	オリエンテーション
第2回 5月30日(日)	プレゼンテーションとは? プレゼンテーションの歴史、スピーチとプレゼンテーションの違い
第3回 5月30日(日)	言語・非言語概論
第4回 5月30日(日)	プレゼンテーション実践
第5回 6月6日(日)	言語スキルトレーニング ~話の組み立て方・言葉遣い
第6回 6月6日(日)	論理的に話す技法
第7回 6月6日(日)	伝わるプレゼンテーションのコツ
第8回 6月6日(日)	プレゼンテーション実践
第9回 6月20日(日)	非言語スキルトレーニング ~表情・ジェスチャートレーニング、ボイトレーニング
第10回 6月20日(日)	上手いプレゼンテーションとは?
第11回 6月20日(日)	プレゼンテーション評価の基準
第12回 6月20日(日)	プレゼンテーション実践
第13回 7月4日(日)	プレゼンテーション大会 【注意】場所:中部講堂
第14回 7月4日(日)	プレゼンテーション大会 【注意】場所:中部講堂
第15回 7月4日(日)	プレゼンテーション大会 【注意】場所:中部講堂

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/24		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20210596001501	科目番号 / Course code	05960015
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	コミュニケーション基礎実践[総合科学科目] / Fundamentals and Practice of Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	當山 明華 / Toyama Sayaka, 岡田 佳子 / Okada Yoshiko, 若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	當山 明華 / Toyama Sayaka		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	當山 明華 / Toyama Sayaka, 岡田 佳子 / Okada Yoshiko, 若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka		
科目分類 / Course Category	総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	s-toyama nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	大学教育イノベーションセンター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2115		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにて予約		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>本科目は「コミュニケーション基礎講座」のモジュール科目として、大学や社会でのコミュニケーションに必要なとされる基礎能力の育成をめざします。</p> <p>皆さんは大学や社会で求められるコミュニケーション能力とはどのようなものだと思いますか？大学や実社会では問題に対して一つの正答があるとは必ずしも限りませんし、回答が複数あることも数多くあります。そのため、大学以降では問題の要点を理解・判断したうえで、自分が考えた意見を人に伝えたり、自分と異なる意見を持った相手とも関係を構築するなどといったコミュニケーションのための様々な能力が求められます。</p> <p>この科目では、日本語の「読み」「書き」を中心に、プレゼンテーションやディスカッション等の基礎的な技能を高め、さらにソーシャルメディアの可能性や情報化社会が及ぼす影響について理解することによって、大学や社会で求められるコミュニケーション能力を全体的に高めていくことをめざします。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>(1)与えられた情報の要点を理解し、要約することができる【本質理解】</p> <p>(2)調べたいテーマについて適切な方法で資料検索・調査ができる【情報収集】</p> <p>(3)正しい引用、注記方法を用いて論理的なレポートが書ける【計画立案力】</p> <p>(4)人の発表や意見を聞いたうえで、自分の意見をまとめ、述べられる【役割理解】</p> <p>(5)建設的かつ創造的に議論ができる【意見の調整・原因追究】</p> <p>(6)ものの見方、考え方には多様性があることを理解する【課題発見力】</p> <p>(7)自分自身で学習の習得状況を確認・分析・評価することができる【メタ認知】</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	成績評価は、課題およびリフレクションペーパーの評価で行います。評価は提示するルーブリックを用いて行います。課題70点、リフレクションペーパー30点の合計100点での評価を行います。 また、下記の条件を全て満たした方のみを評価対象とします。 ・出席は8回以上（リフレクションペーパーの提出） ・最終課題以外の課題提出は5回以上 ・最終課題の提出 （課題については、期限外の提出は認めません）
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	各回とも、テーマに沿ったワークまたはグループ・ディスカッションをもとに学修を深め、理解を確かなものにするために、適宜復習とレポートの提出を求めます（1～2h）。
キーワード/Keywords	読解力、論理的思考、批判的思考、情報リテラシー、ライティング、ディスカッション
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は指定しません。参考資料等は授業のなかで随時配布・提示します。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	受講要件はありません。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	全回出席が可能なこと。集中して授業や課題に取り組むこと。自分の言動に責任を持てることを求めます。 教員からの指示がない限り、授業中のPCおよびスマートフォンの使用は不可とします。
学生へのメッセージ/Message for students	この科目では読み書きを中心としたコミュニケーション能力を実践的に育成していくため、授業外での学修や課題、調査の比重が大きいです。受講を希望する人はその点に留意して参加して下さい。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1, 2回	オリエンテーション, ライティングの基礎を学ぶ
第3, 4回	論理的な表現とは, レポートの書き方を学ぶ
第5, 6回	コミュニケーションスキルについて学ぶ, ディスカッション・プレゼンテーションの基本
第7, 8回	論理的とは(1), (2)
第9, 10回	情報セキュリティについて, ソーシャルネットワークサービスについて
第11, 12回	思考力について学ぶ(1), (2)
第13, 14回	思考力について学ぶ(3), (4)
第15回	まとめと振り返り

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/09		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20210596001701	科目番号 / Course code	05960017
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	ダイバーシティ社会における課題とその解決[総合科学科目] / Issues and Solutions in a Diversity Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉田 ゆり / Yuri Yoshida, 中島 ゆり / Nakajima Yuri, 井口 茂 / Inokuti Shigeru, 伊東 昌子 / Ito Masako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉田 ゆり / Yuri Yoshida		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉田 ゆり / Yuri Yoshida, 中島 ゆり / Nakajima Yuri, 井口 茂 / Inokuti Shigeru, 伊東 昌子 / Ito Masako		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	1年生、2年生、3年生、4年生/1st and 2nd graders		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yuyoshida nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	ダイバーシティ推進センター/Center for Diversity and Inclusion 教育学部220研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2383		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日12:10?12:50 (教育学部研究室でのみ対応)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	現代社会の課題とされているダイバーシティ社会のありようについて、男女共同参画の実現及びジェンダーギャップの解決、ワークライフバランスの実現、アンコンシャスバイアスなどのテーマを通して、社会の一員としての自分のキャリア形成に役立てる/Through gender equality, work-life balance, diversity, we will use it to form a career as a member of society.		
授業到達目標/Course goals	自分をよく理解すること、自分のやりたいこと、なりたい人物像を知ること。ワークライフバランス・ダイバーシティ(多様性)の意味を理解し、自分の将来のキャリア形成に関連付けることができるようになる / To understand yourself, to know what you want to do, to know the person you want to become. Understand the meaning of work-life balance, diversity and be able to relate it to your future career formation		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート50点(50%) + 授業への貢献(プレゼンテーション及び小レポートなどで評価)(50%) = 100点満点のうち60点以上が合格とする。プレゼンテーションは、グループで選んだ課題をグループでまとめて、パワーポイントなどで発表してもらいます / Reports and (50%), presentations・mini reports (50%), In presentation, group chosen tasks and make a presentation using PowerPoint.		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	必要に応じて指示 / Instructions as necessary 事前学習: 自分が現在キャリアをどのように考えているか、介護の体験、ジェンダーのこと、仕事、家庭のことなどを常に考えておくことを求める。メモでもいいので、できるだけ言語化しておくこと(2h) 事後学習: ジェンダーやLGBT、キャリアに関する報道に着目し、イベントに参加するなど、視野を広げる活動を求める。各論については資料を再読し、理解を確実にすること(2h)		
キーワード/Keywords	ダイバーシティ、キャリア、ワークライフバランス/diversity, career, work life balance		

教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じて資料を配布する / Distribute materials as necessary.	
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	特になし/Nothing in particular	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948	
備考 (URL) /Remarks (URL)	http://www.cdi.nagasaki-u.ac.jp、http://nagasaki-ajisai.jp	
学生へのメッセージ/Message for students	この講義を担当するのは、長崎大学ダイバーシティ推進センターの伊東昌子です。長崎大学医学部を卒業して、長崎大学病院で医師として働き、今は同大学ダイバーシティ推進センターに勤務しています。ダイバーシティとは「多様性」という意味で、ダイバーシティ推進とは、さまざまな考え方や価値観を受け入れて、個人が個人としてイキイキと過ごし、自分の「やってみたいこと」「仕事にしたいこと」「こうやって生きたい」と思っていることを実現できるようにすることです。自分の人生と仕事のキャリアを考え、なりたい自分を見つける、また社会生活において他の人の考え方や価値観を尊重することの重要性や生活と仕事の相乗効果と一緒に考え、これから社会人になっていくみなさんために有意義な講義にしていきたいと思えます。 / Masako Ito Masako, Center for Diversity and Inclusion, Nagasaki University is in charge of this lecture. After graduating from Nagasaki University School of Medicine, I worked as a medical doctor at Nagasaki University Hospital and now I work for Center for Diversity and Inclusion. Diversity means "to accept and cherish individual ideas and values". Consider about careers of your life and work, find what you want to be, think about the importance of respecting other people's thinking and values ??in social life, together with the synergistic effect of life and work together. I would like to make meaningful lectures	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	吉田 ゆり / ①病院 (児童精神科、小児神経科外来) の臨床心理士として医師の指示の元、発達・知能検査他検査や観察など診察補助を担当。また、療育手帳発行のための資料作成を行った(1年間) 。 / ②発達障害外来を持つ病院での臨床心理士歴を持つ教員が、発達障害の各論とその指導法について講義 / ③横浜市総合リハビリテーションセンター (非常勤)	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	自分のキャリアを自分で考える：ワークライフバランスとダイバーシティ (吉田)	A D
第2回	介護 (親・祖父母の介護) とキャリア (井口茂)	D
第3回	介護 (親・祖父母の介護) とキャリア (井口茂)	D
第4回	ワークライフバランスと女性の活躍 (伊東昌子)	B
第5回	ワークライフバランスと女性の活躍 (伊東昌子)	B
第6回	アンコンシャスバイアスを知る (伊東昌子)	B
第7回	アンコンシャスバイアスに対応する (伊東昌子)	D
第8回	進路選択とジェンダー (中島ゆり)	D
第9回 (5月15日)	進路選択とジェンダー (中島ゆり)	D
第10回	LGBTについて (吉田ゆり) 長崎大学の取り組み	D
第11回	LGBTについて (吉田ゆり) ゲストスピーカーを迎えての講話	A
第12回 (5月29日)	豊かに生きるためのコミュニケーション (吉田ゆり)	A
第13回 (5月29日)	豊かに生きるためのコミュニケーション (吉田ゆり)	A
第14回 (6月5日)	子育てとキャリア、子育て支援 (吉田ゆり)	A B
第15回 (6月5日)	まとめ (学生同士のディスカッションを中心に) (吉田ゆり)	A B

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/24		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210596002901	科目番号 / Course code	05960029
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	事業創造・スタートアップ入門[総合科学科目] / Introduction to Business Development & Start-Up		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	上條 由紀子		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	上條 由紀子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	上條 由紀子		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学部(情報データ科学部・多文化社会学部・多文化社会学科・教育学部・経済学部・医学部・歯学部・薬学部・工学部・環境科学部・水産学部)の学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kami.jo@nagasaki-u.ac.jp (担当教員: 上條由紀子) y-junji@nagasaki-u.ac.jp (担当教員: 山下淳司) メール連絡時は、必ず両教員宛に同報して下さい。		
担当教員研究室/Office	研究開発推進機構FFGアントレプレナーシップセンター(工学部2号館2階オープンラボ3)		
担当教員TEL/Tel	095-800-4121 (FFGアントレプレナーシップセンター事務室: 平日9時~17時対応可能)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールまたは電話でアポイントを取って下さい。面談等は原則として授業実施日の授業前後の時間帯になります。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本授業では、イノベーション、即ち、社会に新しい価値を創造する担い手である「スタートアップ」と呼ばれる企業を立ち上げるために必要なスキル、知識、マインドセットについて学習します。具体的には「スタートアップとは何か?」「社会に新しい価値を提供するためのビジネス(事業)とは?」「スタートアップに必要なチームとは?」「ビジネス(事業)に必要な資金をどのように集めるのか?」「ビジネスモデルやビジネスプランとは?」「スタートアップと市場」などのテーマについて学びます。また、新しい事業を創造し、社会価値を生み出すことに挑戦されている起業家や経営者をお招きし、実際のビジネスについてご紹介頂き、スタートアップによるイノベーション創出の意義についてお話いただきます。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・社会に新しい価値を創造し、イノベーションを創出する担い手である「スタートアップ」起業を立ち上げるために必要なスキル、知識、マインドセットとは何かについて習得できる。 ・スタートアップとは何か、社会に新しい価値を提供するためのビジネス(事業)とはどのようなものか、スタートアップに必要なチームとはどのようなものか、ビジネス(事業)に必要な資金をどのように集めるのか、ビジネスモデルやビジネスプランを構築するにはどうすればよいか、などのテーマについて基礎知識を習得することができる。 ・スタートアップによるイノベーション創出の意義について理解できるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への出席状況および授業への参加状況(発言、質問等)30点、授業毎に提出する課題レポート70点、合計100点として教員が総合的に評価する(60点以上を合格とする)。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習として授業で用いる資料やプリント教材等を予め配布するので目を通して授業に臨むこと(2h)。事後学習として、授業後に出された課題レポートを作成しLACS等を通じて提出すること(2h)。
キーワード/Keywords	アントレプレナー、企業家精神、スタートアップ、イノベーション、テクノロジー、事業機会、ビジネスプラン、ビジネスモデル、ベンチャー、資金調達、組織、チーム、ファイナンス、
教科書・教材・参考書/Materials	授業において資料・プリント教材を配布する。 <参考書> ・アントレプレナーシップ入門ーベンチャーの創造を学ぶ(忽那 憲治, 長谷川 博和他著) ・はじめてのアントレプレナーシップ論(中村博樹著) ・起業の科学(田所雅之著) ・日経文庫経営学入門シリーズ ベンチャー企業(松田修一著)
受講要件(履修条件)/Prerequisites	受講要件(履修条件)は特になし。 なお、FFGアントレプレナーシップセンター教育プログラムのうち、教育教養科目「アントレプレナーシップ入門」(1Q)「アイデア創出・デザイン思考入門」(2Q)を本授業とあわせて受講することにより、さらに効果的な学習を進めることができます。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	http://www.nfec.nagasaki-u.ac.jp/ 最新情報はWEBサイトを参照すること。
学生へのメッセージ/Message for students	イノベーションの担い手として社会に新しい価値を創造する「スタートアップ」について理解を深めたい学生諸君、実際に起業や新規事業立上げなどに関心があり挑戦する意欲がある学生諸君の参加を期待しています。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	授業実施方法, 最新のゲスト講師及びスケジュールの変更, 講師実務経験内容等, 最新情報はWEBサイトを参照すること。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回: 9月29日(水)5・6時限	・オリエンテーション(授業概要及び進め方) ・スタートアップとは何か
第2回: 10月6日(水)5・6時限	・組織(大企業, 中小企業, ベンチャー, 非営利活動法人, 行政等)とアントレプレナーシップ ・ゲストによる講義 / グループディスカッション / 質疑応答
第3回: 10月13日(水)5・6時限	・社会課題を解決するソーシャル・アントレプレナーシップ ・ゲストによる講義 / グループディスカッション / 質疑応答
第4回: 10月20日(水)5・6時限	・地域とアントレプレナーシップ ・ゲストによる講義 / グループディスカッション / 質疑応答
第5回: 10月27日(水)5・6時限	・ベンチャー企業とアントレプレナーシップ ・ゲストによる講義 / グループディスカッション / 質疑応答
第6回: 11月10日(水)5・6時限	・起業及び新規事業立上げのプロセスとアントレプレナーシップ ・ゲストによる講義 / グループディスカッション / 質疑応答
第7回: 11月17日(水)5・6時限	・組織・チーム構築とアントレプレナーシップ ・ゲストによる講義 / グループディスカッション / 質疑応答
第8回: 11月24日(水)5時限	あなたにとってのアントレプレナーシップについて考える / 総括・まとめ

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/24		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20210596003501	科目番号 / Course code	05960035
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	長崎歴史文化学[総合科学科目] / History and Culture of Nagasaki		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	原口 茂樹 / Haraguchi Shigeki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	原口 茂樹 / Haraguchi Shigeki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	原口 茂樹 / Haraguchi Shigeki		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 人文・社会科学科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	papishige60.58devimayu snow.plala.or.jp(メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	オランダ通詞の業績とキリスト教文化を柱に、古代からの長崎の歴史と文化を文献、史料に視聴覚教材、シミュレーションゲーム教材、史跡探訪を交えて学ぶことで、長崎史の視点から中央史の論評ができる力を養います。		
授業到達目標/Course goals	1.日本近代化の基礎を形作りながらも、世に忘れられたオランダ通詞の業績を、学び伝えることができる。 2.浦上を中心にした本県の四百年にわたるキリスト教文化の変遷を、感動をもって学ぶことができる。 3長崎学の視点から中央史の歪みのある部分を指摘することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎回の課題提出 + 授業への取組み・発表10~20点 合計70点 + 最終レポート30点 = 総計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習: 毎回テキスト冊子を配布するので、それらに目を通したうえで講義にのぞむこと。(2h) 復習: 配布冊子を再読し、理解を確実にするよう努めること。(2h)		
キーワード/Keywords	オランダ通詞 隠れキリシタン		
教科書・教材・参考書/Materials	教材小冊子 7冊程度 人数によりオランダ通詞の書籍を配布		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	神功皇后伝説や祭・アニメにみる巫女の姿、地名・人名から尋ねる荘園と武士の世界、近世を開いた長崎の町と港、近代日本の基点となったオランダ通詞の業績、世界的なキリスト教殉教と軍事工業の地・浦上。これらを文献、映像、ゲーム、音楽や、実際の史跡を巡ることで学びます。なお、史跡探訪箇所の増減や天候、感染症に合わせて単元を入れ替え、配点を加減することがあります。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	原口 茂樹 / 長崎県公立学校での41年間の授業経験 / 活水高等学校において7年間の長崎文化学の授業経験（継続中）
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	1. 祭の本質と長崎の祭 神功皇后伝説と神聖姫巫女、神子と市子 漢字と風土
第2回	2. 長崎の地形学 シミュレーションゲームで学ぶ荘園と武士の起こり 全国のGDP地図を読む 地名と人名から探す各自の荘園
第3回	3. 大航海時代と戦国の開港 イエズス会の布教と教育、遣欧少年使節 海賊映画や長崎くんちにみる日中欧の帆船の形式・形状 世界の風と潮の流れ
第4回	4. 映画資料「沈黙」にみる弾圧の時代 「ガリバー旅行記」にみるオランダの時代
第5回	5. 長崎に伝わるキリスト教文化 天地始之事（国） グレゴリオ聖歌と歌オラショ（歌唱） 御前様お洗濯（描画） オマプリ作り（工作） これらの実習により、信仰の変化を考えます。
第6回	6. 「信仰の聖地・浦上」フィールドワーク（雨天時単元入替）浦上街道史跡巡り キリシタン遺跡、キリシタン墓地、帳方屋敷、浦上天主堂、被爆遺跡等
第7回	7. 日本近代化の基点・長崎蘭学 オランダ通詞・吉雄耕牛とオランダ座敷 本木良永の真摯な翻訳作業 江戸蘭学の育成と杉田玄白の裏切り
第8回	8. 翻訳と造語の実際 二人の子弟、志筑忠雄、本木正栄、吉雄権之助らによる文法の解析と優れた辞書の完成とシーボルト事件による通詞団の壊滅
第9回	9. <長崎フィールドワーク>（雨天時単元入替） ~ で学んだ箇所の確認。出島、岬の教会、各通詞邸跡、自治都市の城壁と堀の探索、勝山代官屋敷、西勝寺等
第10回	10. 継続実施 聖福寺、会所跡、歴文立山奉行所、諏訪神社、マグドナルド碑、堂門橋、桜馬場城、教会跡の春徳寺等
第11回	11. ベリー艦隊と佐賀藩築造の四郎ヶ島台場との火力の比較及び攻防のシミュレーション もしくは長崎フィールドワーク予備
第12回	12. 近代分岐・明治の国作りゲーム もしくは長崎フィールドワーク予備
第13回	13. 幕末大村藩の渡辺昇（鞍馬天狗）と新選組、浦上四番崩れの指揮 同期の長与専斎の医学、盟友長岡の子・長岡半太郎の原子模型案出及び朝永、湯川、仁科博士らの育成
第14回	14. 第二次大戦と浦上 近代科学とABC兵器 浦上洲村と戦艦 浦上家野村と魚雷 ミッションスクールと教養教育、ポップカルチャーの聖地長崎
第15回	15. Q&A、長崎学の中央への発信について、もしくは住吉方面フィールドワーク
第16回	16. 予備回